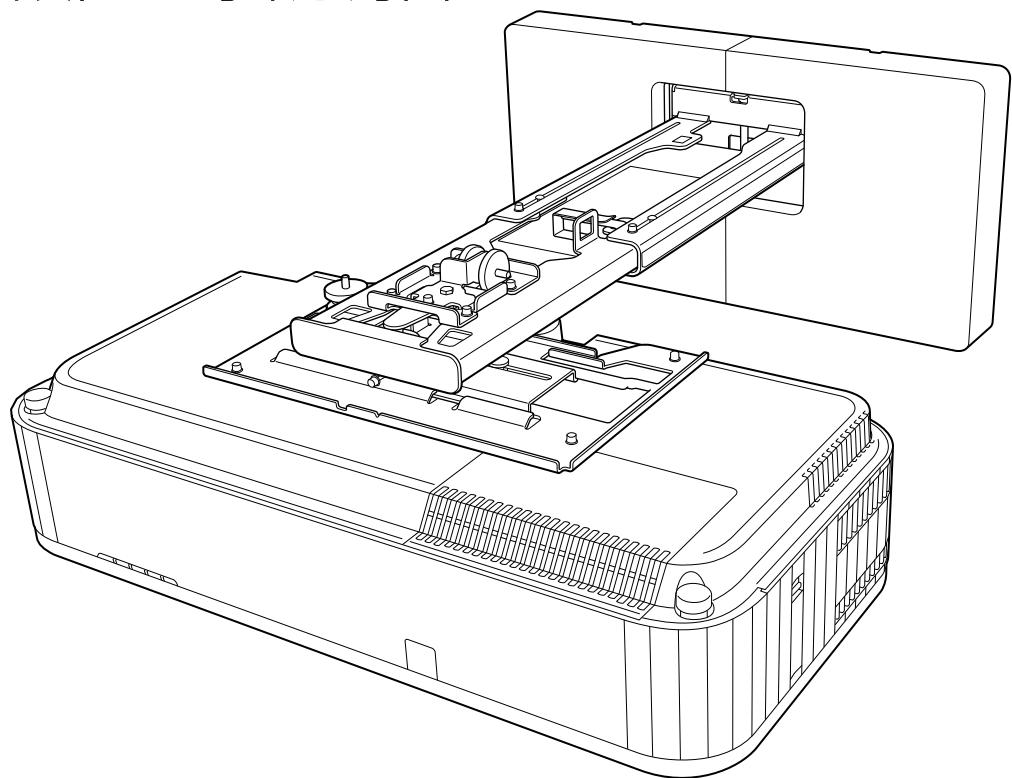


EPSON

**EB-810E
EB-815E
ELPMB75**

設置工事説明書



○ 本書の記載

本書では、セッティングプレート (ELPMB75) を使った超短焦点プロジェクター (EB-810E/EB-815E) の取り付け方法を説明しています。

ネジの締付トルク一覧

各ネジサイズに対応する締付トルクは以下のとおりです。

ネジサイズ	推奨締付トルク N・m
M4	1.1 ± 0.1
M5	2.2 ± 0.2
M6	3.8 ± 0.3
M8	9.3 ± 0.8
M10	18.4 ± 1.7

本書について

本書の記載 1

ネジの締付トルク一覧 1

はじめに

安全にお使いいただくために 3

安全に関する表示 3

記号の意味 3

同梱品一覧 4

セッティングプレート 4

金具本体 4

付属品 5

準備が必要なもの 6

取り付け寸法図 7

接続図 9

複数台のプロジェクター同士の接続 9

セッティングプレート設置

セッティングプレートの設置に関するご注意 10

セッティングプレートの設置場所に関するご注意 14

セッティングプレート仕様 16

外形寸法 17

調整範囲 19

上下スライド 19

水平スライド 20

前後スライド 20

ミニPC取り付け用プレート 21

セッティングプレート取り付け手順 22

金具の取り付け 23

設置位置を決める（投写距離表） 23

調整ユニットをプロジェクターに取り付ける 45

ウォールプレートを壁に取り付ける 46

アームユニットをウォールプレートに取り付ける 48

アームユニットに調整ユニットを取り付ける 53

周辺機器を取り付ける 54

投写映像の位置調整 56

調整前の準備 58

Epson Setting Assistantによる調整 58

セッティングプレート調整ガイドを使った手動調整 60

プロジェクターメニューを使った調整 64

カバーの取り付け 69

セキュリティーケーブルの取り付け 71

セーフティーワイヤーの取り付け 72

プロジェクター設定

一括設定機能 74

USBメモリーを使って設定する 74

設定値をUSBメモリーに保存する 74

保存した設定値を他のプロジェクターに反映する 75

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する 76

設定値をコンピューターに保存する 76

保存した設定値を他のプロジェクターに反映する 77

設定がうまくいかないときは 78

本機を複数台並べて設置する（マルチプロジェクション） 80

プロジェクターIDの設定 80

マルチプロジェクションの接続設定 82

HDMIリンク設定 83

マルチプロジェクションの映像調整 84

付録

安全規格対応シンボルマークと説明 86

商標について 89

○ 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、お使いの前に必ず本書をお読みください。本書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因となります。本書は、製品の不明点を一つでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

プロジェクトの『取扱説明書』と『安全にお使いいただくために』も合わせてご確認いただき、取り扱いの注意事項をお守りください。

安全に関する表示

取扱説明書および本製品には、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号の意味

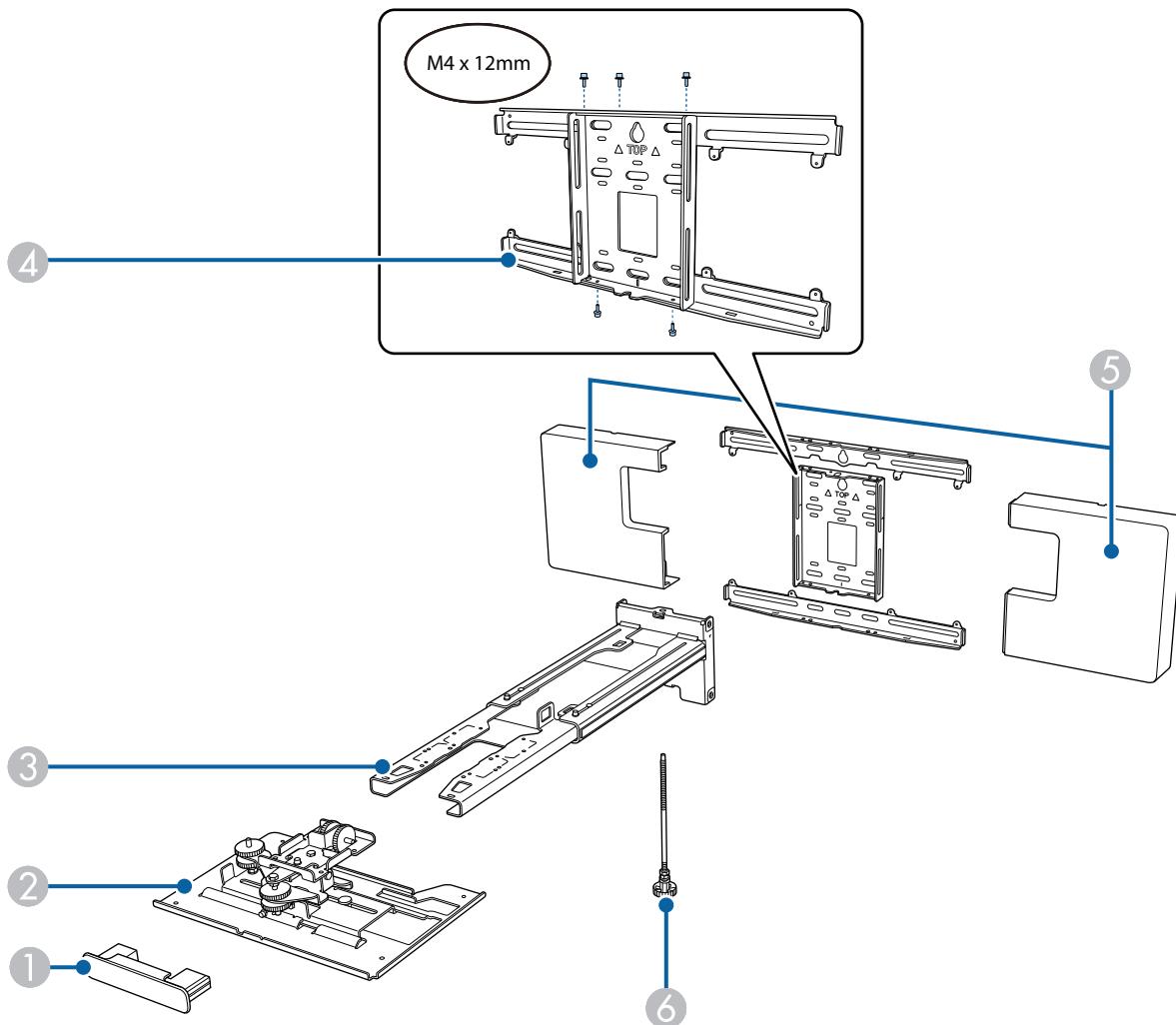
記号	意味
	行為を禁止する記号
	行為を指示する記号
	関連する情報や知っておくと便利な情報

同梱品一覧

取り付けに必要な同梱品がすべて揃っていることをご確認ください。

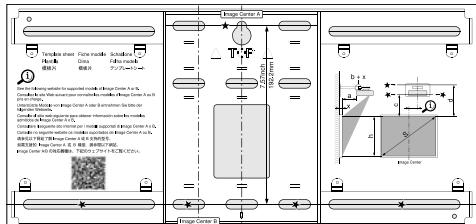
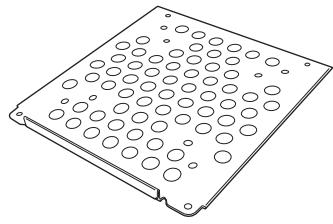
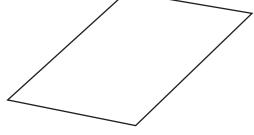
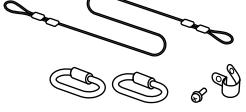
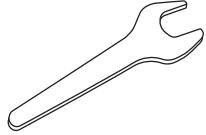
セッティングプレート

金具本体



No.	パーツ名
①	エンドキャップ
②	調整ユニット
③	アームユニット
④	ウォールプレート
⑤	ウォールプレートカバー
⑥	六角軸

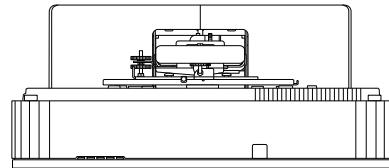
■ 付属品

パーツ	名称	用途
	テンプレートシート	ウォールプレートを取り付ける前に壁に貼りつけて、必要なネジ穴を開けるために使います。
	ミニPC用プレート	ミニPCやスティックPCを取り付けるときに、ウォールプレートに取り付けます。
	ミニPC用ベルト	ネジ固定ができないミニPCやスティックPCを取り付けるときに、PCをプレートに固定するために使います。
	ケーブル結束用ベルト	配線後に余ったケーブルを束ねます。
	目隠しシール	設置後にアームユニットの隙間が気になるときに貼りつけます。
	セーフティーワイヤーセット	プロジェクターの落下を防ぐために、セッティングプレートとプロジェクターを繋ぎます。
	六角レンチ (M4 用)	-
	スパナ (呼び13、M6用)	-
	M4 x 12mm 六角穴付きボルト ワッシャー/スプリングワッシャーあり (13本)	<ul style="list-style-type: none"> • p.4で示した図の通り、ウォールプレートを組み立てるために使います (5本) • 調整ユニットをプロジェクターに固定するために使います (4本) • 調整ユニットをアームユニットに固定するために使います (4本)
	ゴムキャップ	フット部分の金具に取り付けます。

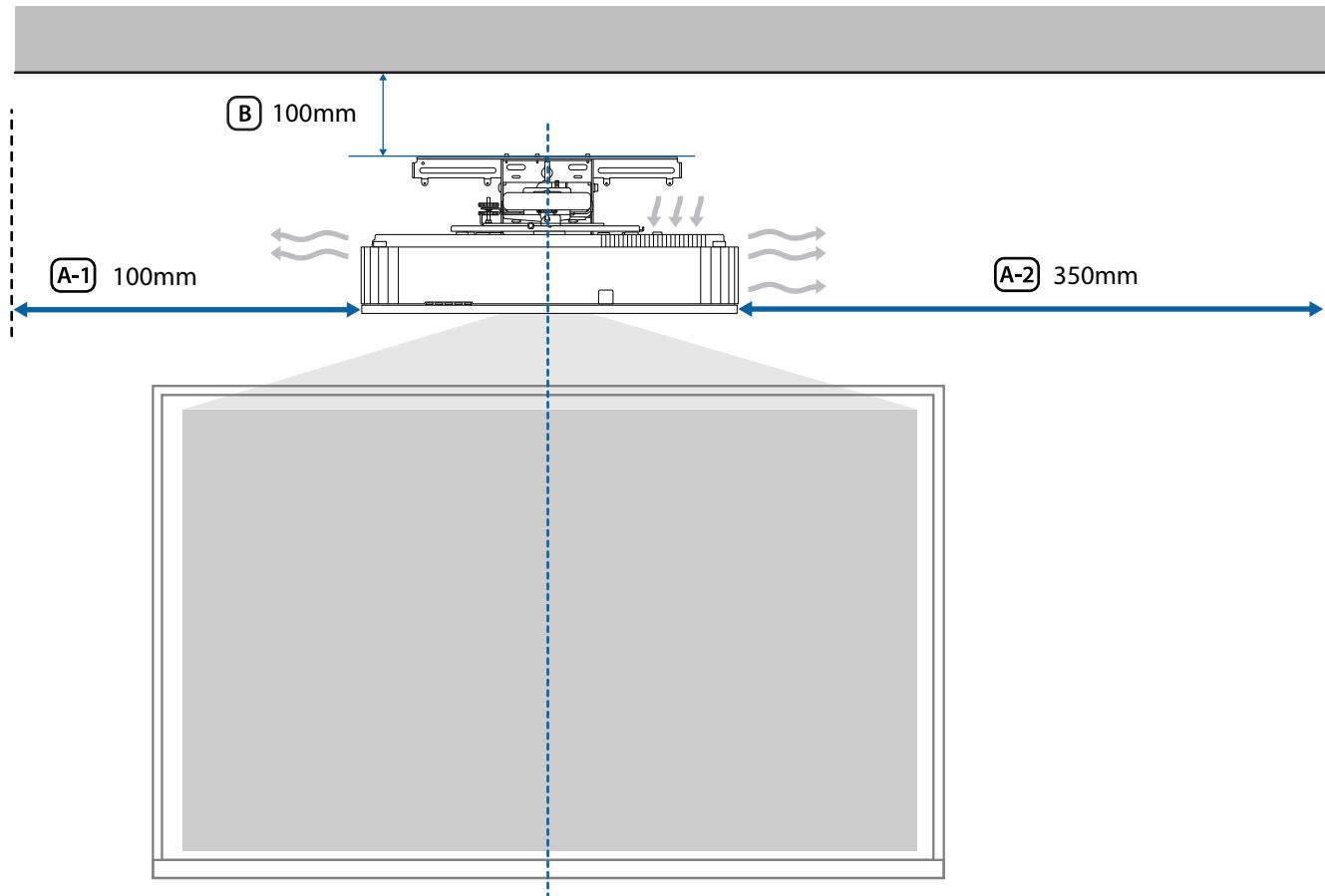
パーツ	名称	用途
	M6 x 20mm 六角段付きボルト ワッシャー/スプリングワッシャーあり (1本)	アームユニットをウォールプレートに固定するために使います。
	M6 x 20mm 十字穴付き段付きネジ プラスチックワッシャーあり (3本)	
	M3 x 6mm 十字穴付きネジ (4本)	ミニPC用プレートをウォールプレートに固定するために使います。

準備が必要なもの

同梱品以外に、別途準備が必要なネジ類や工具は以下のとおりです。

対象パーツ	必要なもの
	<p>セッティングプレート用</p> <ul style="list-style-type: none"> • M10 または3/8インチx 60mmアンカーボルト (ウォールプレート固定用 : 4本以上) • M10ネジ (ウォールプレート仮留め用 : 1本) • 17mm ラチェットレンチ (六角軸の調整用) • プロジェクターと接続するケーブル類 • ミニPC等の機器類

取り付け寸法図

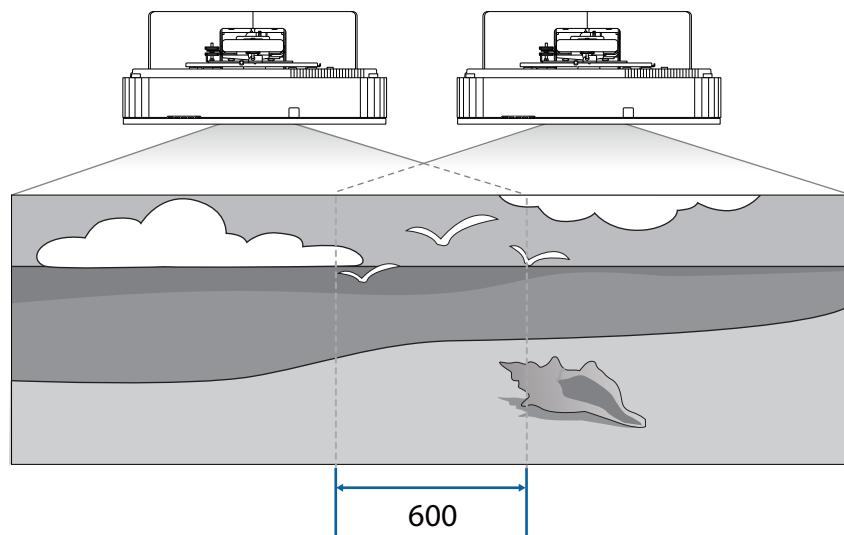


⚠ 注意

プロジェクターを設置するときは、プロジェクターの排気口や吸気口を壁などから離してください。
(上図 A-1, A-2 参照)

□ 天井からウォールプレート上端までの間を約100mm空けると、プロジェクターの設置や取り外し時に作業しやすくなります。(上図 B 参照)

複数台のプロジェクターを並べて横長の画面を投写するときは、エッジブレンディング機能で映像のつなぎ目を目立たないようにします。アスペクト比3:1の画面を投写するときは、[エッジブレンディング] の [ブレンド範囲] を600に設定してください。



ブレンド範囲を600に設定できないときは、600以下に設定することもできます。

600より小さく設定すると、映像の左右に黒帯が出る可能性があります。

接続図

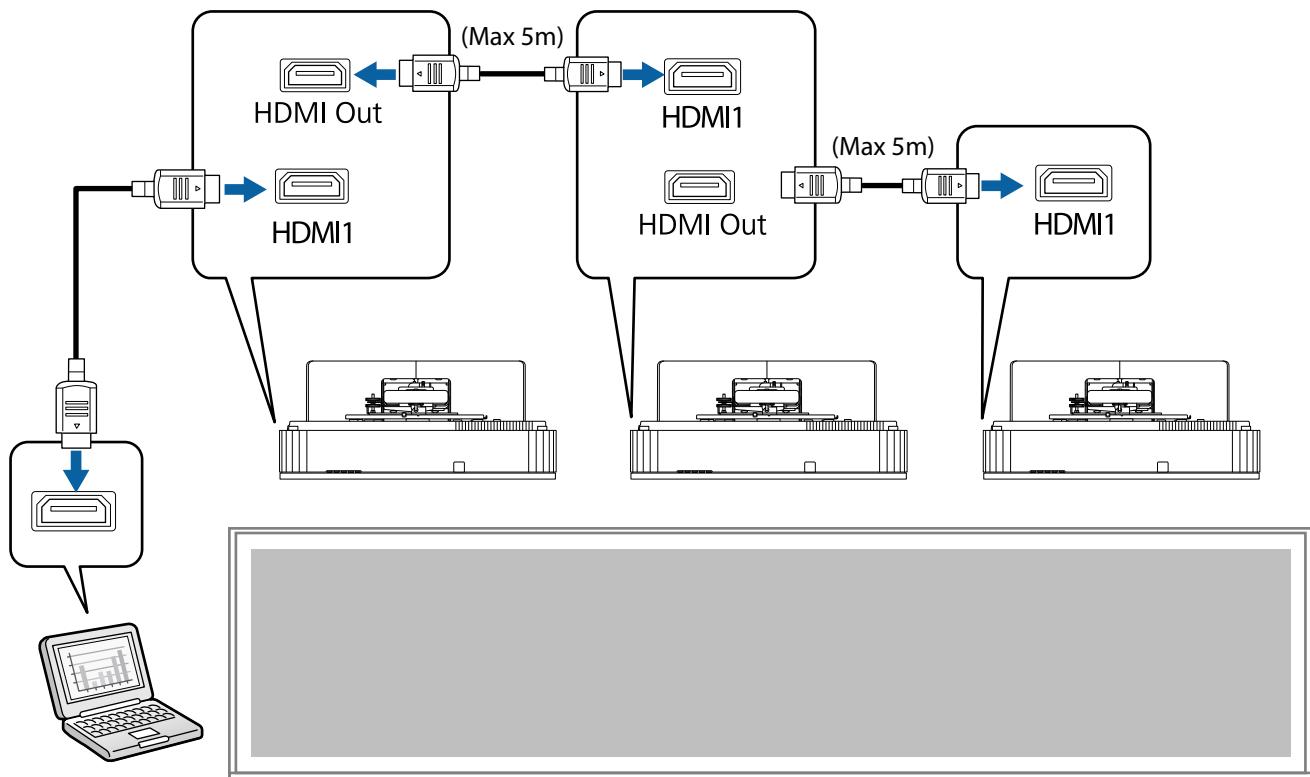
複数台のプロジェクター同士の接続

複数のプロジェクターを並べて使うときに必要なケーブルは以下のとおりです。

他に必要なケーブルがある場合は、『取扱説明書』をご確認ください。

2~4台までのプロジェクターを並べて設置できます。

下図は3台を並べた場合の接続例です。



○ セッティングプレートの設置に関するご注意

 警告	
セッティングプレートはプロジェクターの壁掛け設置専用品です。プロジェクター以外のものを取り付けるとその重さによっては破損することがあります。	!
本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	!
壁への取り付け（壁掛け設置）工事は、特別な技術が必要です。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。	!
壁掛け設置工事は、本書で指定したボルトやネジを使用して、本書に記載の手順で行ってください。	!
記載事項を守らないと、本製品が落下し、けがや事故の原因となります。	!
電源コードの取り扱いには注意してください。 取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。取り扱いの際には、次の点を守ってください。	!
<ul style="list-style-type: none"> 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。 破損や加工した電源コードを使用しない。 電源コードをアームユニットに通すときは、強い力で引っ張らない。 	
振動や衝撃が伝わる不安定な場所には設置しないでください。 本製品や設置面が破損するおそれがあります。また、本製品が落下して人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	🚫
壁に取り付ける際は、プロジェクターとセッティングプレートの質量および横揺れにも十分耐えられるように取り付けてください。ナット・ボルト等はM10または3/8インチx60mmを使用してください。	!
M10または3/8インチx60mmより小さいと落下事故の原因となります。取り付けの強度不足等による落下事故につきましては、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。	
本製品は必ず二人以上の専門業者で設置してください。設置中にネジ類を緩めるとときは、本製品が落下しないように取り扱ってください。 本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	!
本製品を壁に取り付けるときは、プロジェクターとセッティングプレートを支えるために壁には十分な強度が必要です。	!
本製品はコンクリートの壁に取り付けてください。 プロジェクターとセッティングプレートの最大総重量は、約22.0kgです（ケーブル類含まず）。	
本製品を壁に設置する前に、壁の強度を確保してください。強度不足のときは、十分に補強してから設置してください。	
定期的に、破損箇所やネジ類の緩みがないか点検してください。 破損箇所があるときはすぐに使用を中止してください。本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	🚫
本製品の分解・改造は絶対にしないでください。 内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。	🚫

 警告	
本製品にぶら下がらないでください。また、重い物をぶら下げないでください。	
本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	
セッティングプレートの設置や調整を行うときは、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。	
プロジェクターの金具固定部にネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。	
調整後はすべてのネジを完全に締め直してください。	
十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。	
設置後は、ボルト・ナットを絶対に緩めないでください。	
また、定期的にネジ類の緩みがないことを確認してください。万一、緩みがあるときは、確実に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。	
ケーブルはネジやボルトを避けて配線してください。	
ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。	
プロジェクターの電源を入れるときは、絶対に投写レンズをのぞかないでください。	
強い光で目を痛めるなどの原因となります。小さなお子様のいる場所では特に注意してください。離れた場所からリモコンを使ってプロジェクターの電源を入れるときは、投写レンズをのぞいている人がいないことを確認してから電源を入れてください。	
プロジェクターを使用するときは、プロジェクターの投写レンズにものを置いたり、手を近づけたりしないでください。	
投写光が集束するため高温になり危険です。	
可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。	
プロジェクター内部が高温になっているため、引火による火災の原因となります。	
プロジェクターのメンテナンスや修理をするときは、必ず工事専門業者がプロジェクターの取り外しと再設置を行ってください。	
プロジェクターのメンテナンスおよび修理の方法は、プロジェクターの『取扱説明書』を参照してください。	
本製品に異常が発生したときは、すぐに本製品に接続しているケーブルを抜いて、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。	
そのまま使用を続けると、火災・感電・視力障害の原因となります。	



本機の内部および外部にはレーザー警告ラベルが貼られています。

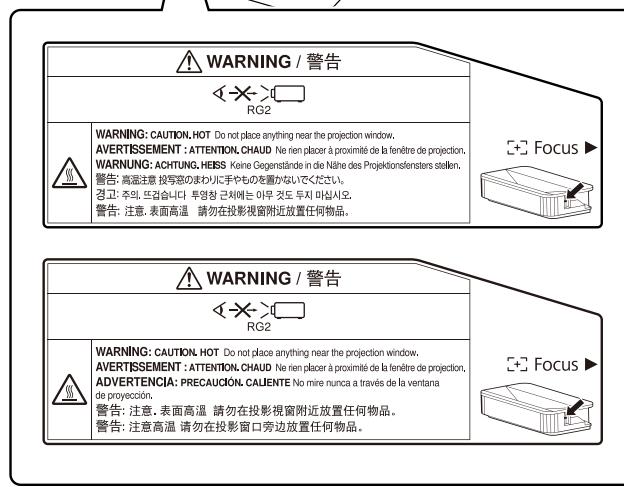
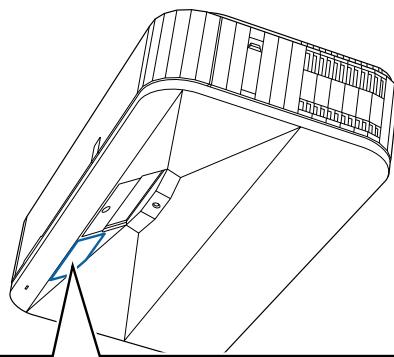


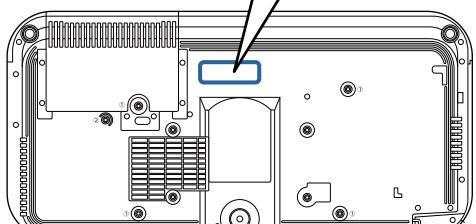
内部



外部

投写中は、投写レンズから放射されるレーザービームをのぞかないでください。(JIS C 6802:2014に準拠)



<p style="text-align: center;">⚠ 警告</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>CLASS 1 LASER PRODUCT PRODUIT LASER DE CLASSE 1 LASER KLASSE 1 1 등급 레이저 제품 第1級 (CLASS 1) 雷射產品</p> <p>CONSUMER LASER PRODUCT Verbraucher-Laserprodukt EN 50689:2021 クラス1レーザ製品</p> </div> 	
本機のケースを開けないでください。 内部に高出力レーザー製品が組み込まれています。	
本機の光源を直接見ないでください。 強い光が視力障害などの原因となります。	
<p style="text-align: center;">⚠ 注意</p>	
ご使用になるプロジェクター機種の使用温度範囲を超える場所には設置しないでください。 故障の原因となります。	
レンズや内部の光学部品に汚れが付着しないように、ホコリや湿気の少ないところに設置してください。	!
本製品を調整するときは無理な力を加えないでください。 本製品が壊れてけがの原因となることがあります。	
本機はJIS C 6802:2014に適合したクラス1レーザー製品です。	!
電源プラグをつなぐ前に、必ず接地接続を行ってください。また、接地接続を外すときは、電源プラグを外してから行ってください。	!
本機を廃棄する場合は分解しないでください。 国や地域の法令や条例に従って廃棄してください。	

○ セッティングプレートの設置場所に関するご注意

⚠ 警告

油煙やイベント用スモークがあたる場所に設置しないでください。



プロジェクターの金具固定部に油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。

⚠ 注意

プロジェクターを設置する場所に、あらかじめ電源工事を済ませておいてください。

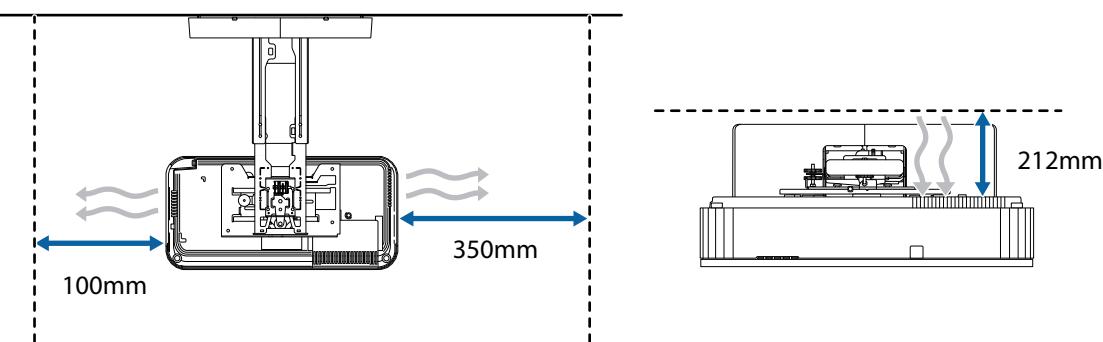


プロジェクターを設置する場所は、蛍光灯・エアコンなど他の電気製品から離してください。



蛍光灯の種類によっては、リモコンやペンが誤動作することがあります。

プロジェクターを設置するときは、プロジェクターの排気口や吸気口を壁などから下図のとおり離してください。



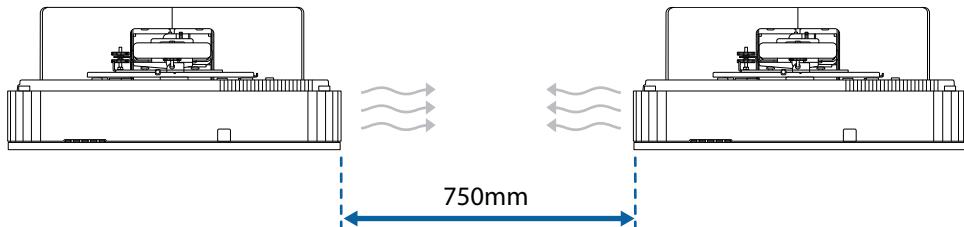
2台以上のプロジェクターを並べて設置するときは、35°C以下の環境に設置してください。



高温の環境で使用すると、プロジェクターが高温になり突然電源が切れことがあります。

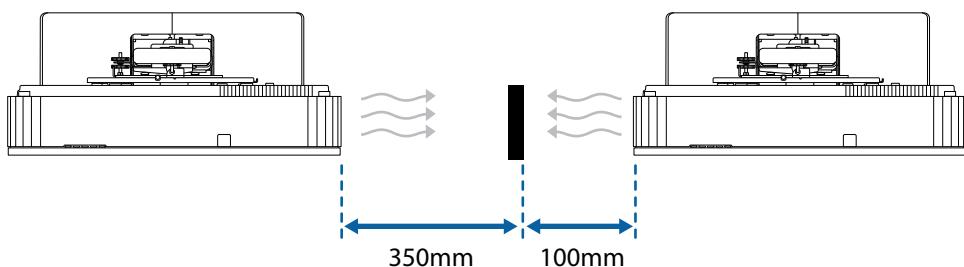
 注意

2台以上のプロジェクターを並べて設置するときは、プロジェクター同士の間を約750mm空けてください。



約750mmのスペースを確保できない場合は、排気口から出た熱を遮るために仕切りを取り付けます。

仕切りを置くときは以下のスペースで確保してください。



プロジェクターの設置・調整は、実際の使用環境に近い室温で行ってください。

温度が変化すると、映像の位置がずれる可能性があります。



プロジェクターの傾きが、スクリーンに対してタテ・ヨコ+3度または-3度以内になるように設置してください。

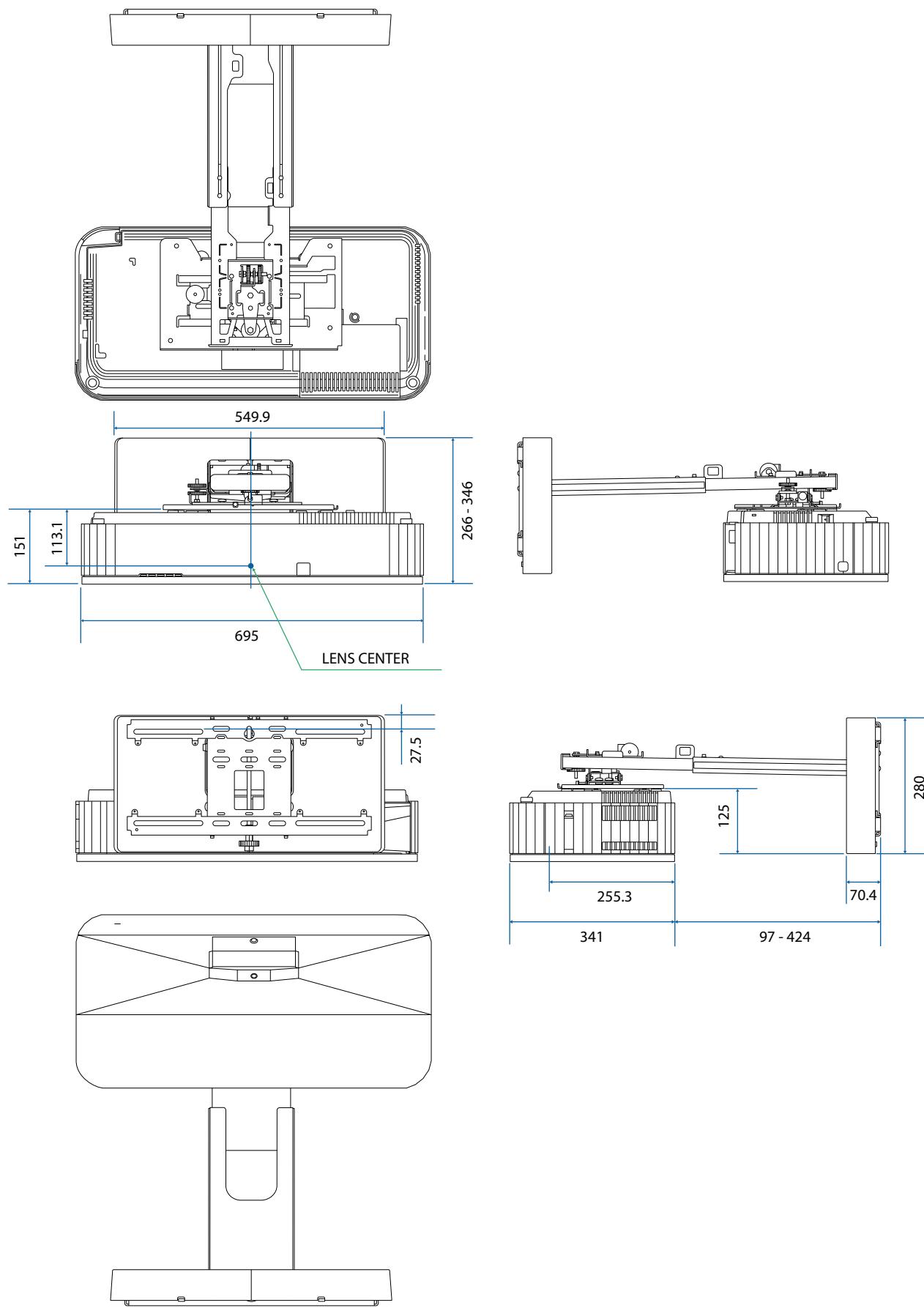
貼付型スクリーン、またはボード型スクリーンの使用をお勧めします。



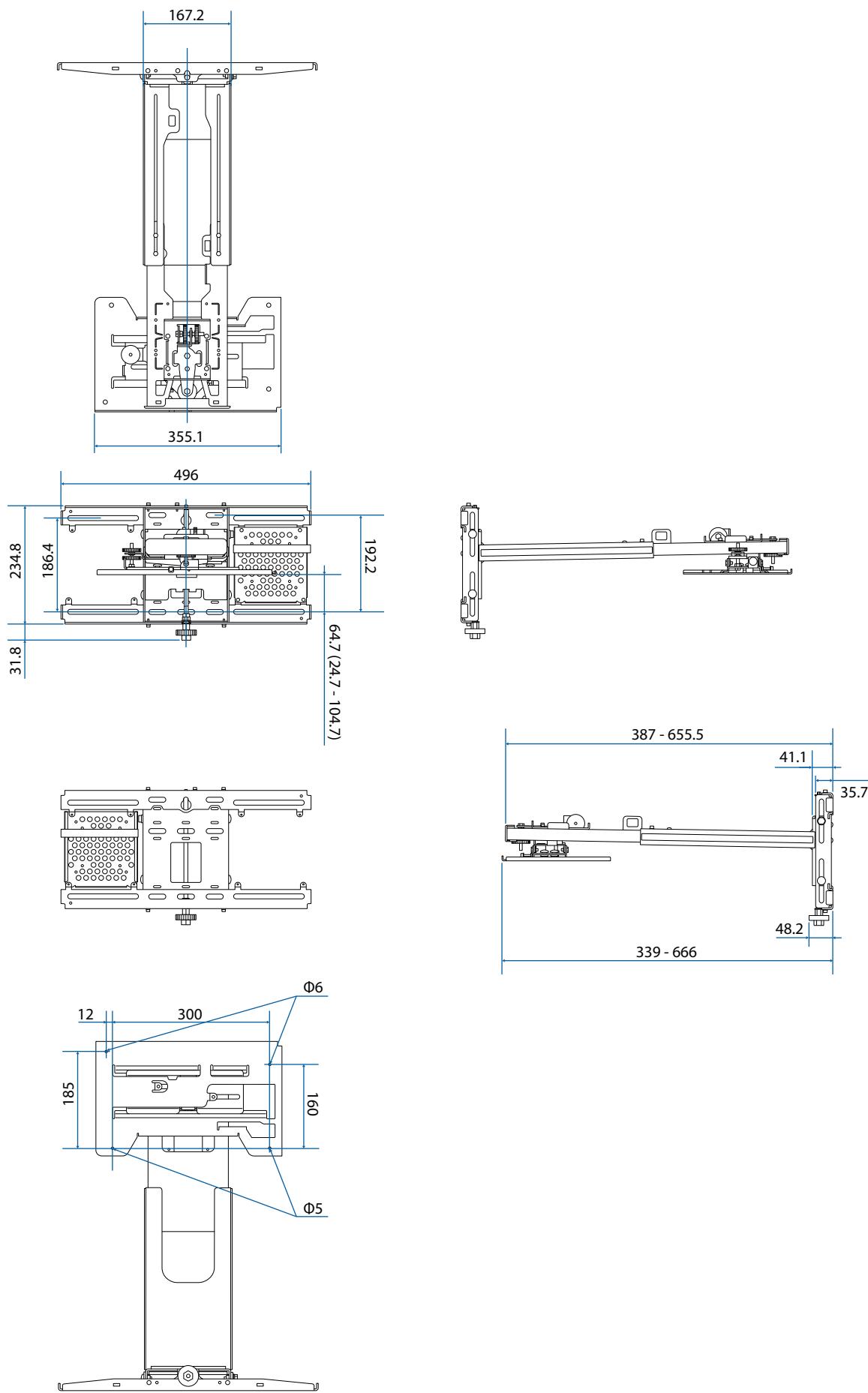
○ セッティングプレート仕様

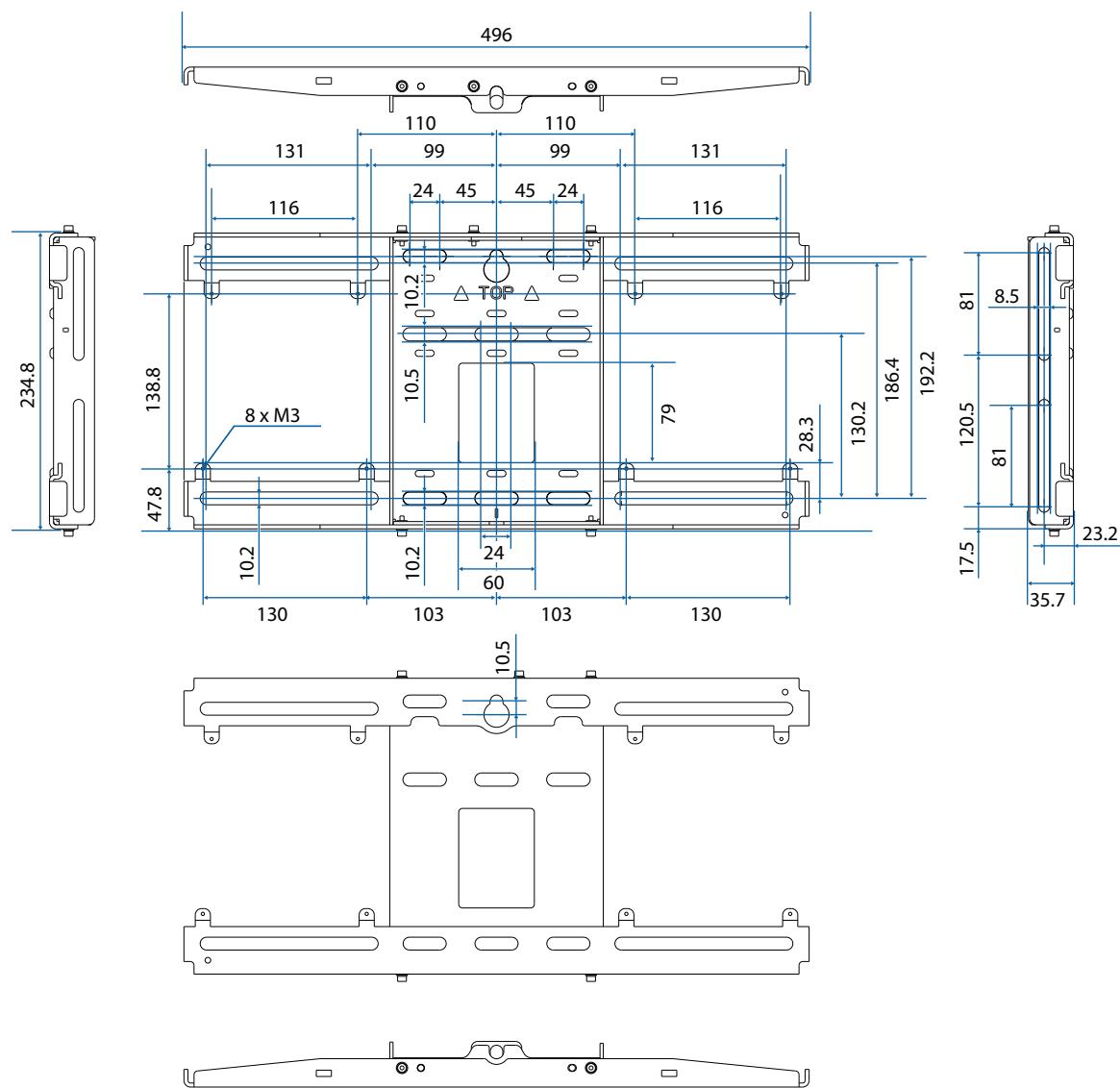
項目	仕様
セッティングプレート質量（アームユニット、六角軸、調整ユニット、ウォールプレート、ウォールプレートカバー、エンドキャップ）	約9.5kg
最大荷重	15.0kg

外形寸法



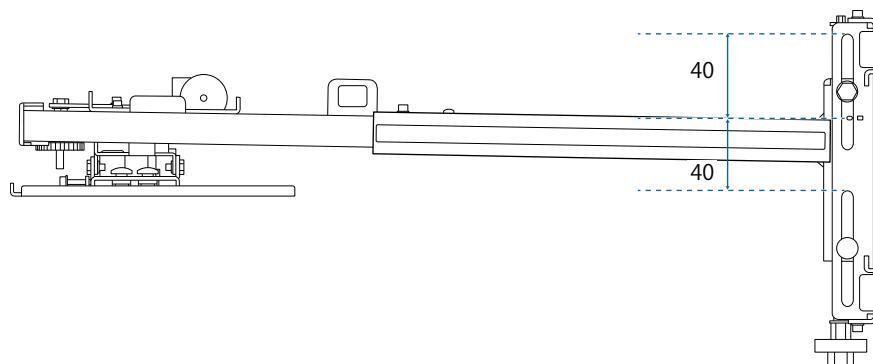
セッティングプレート設置



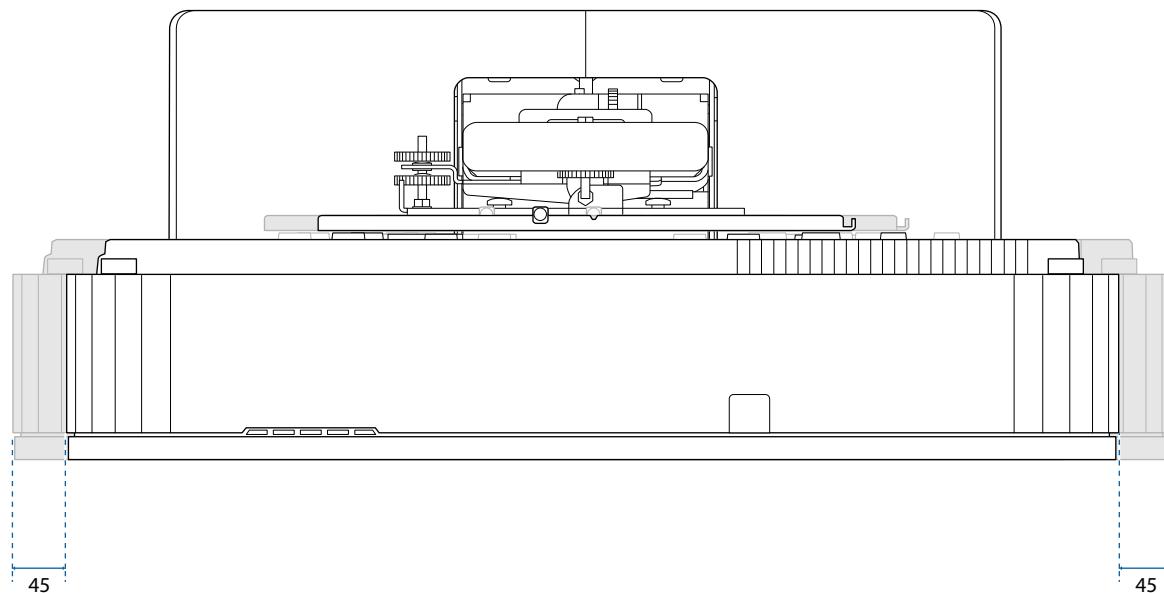


調整範囲

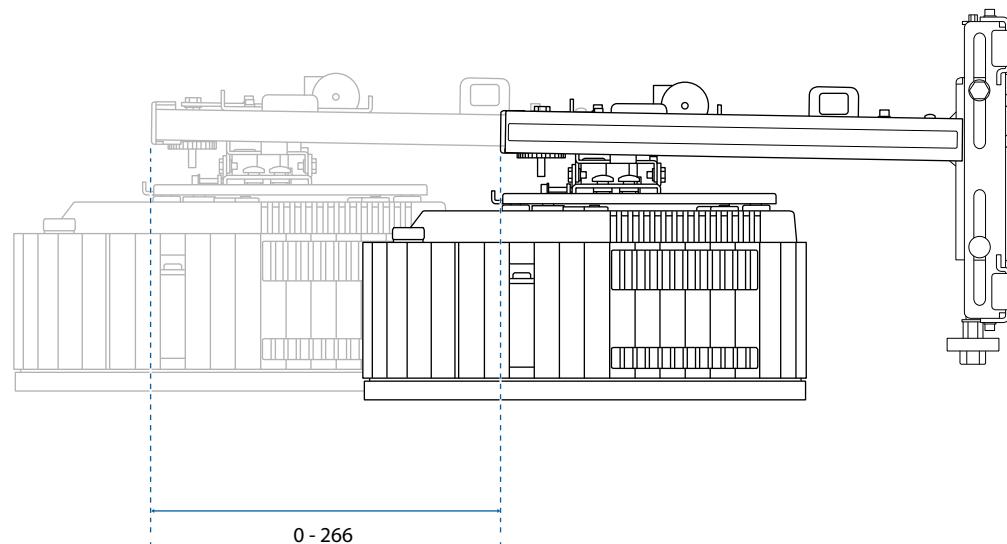
■ 上下スライド



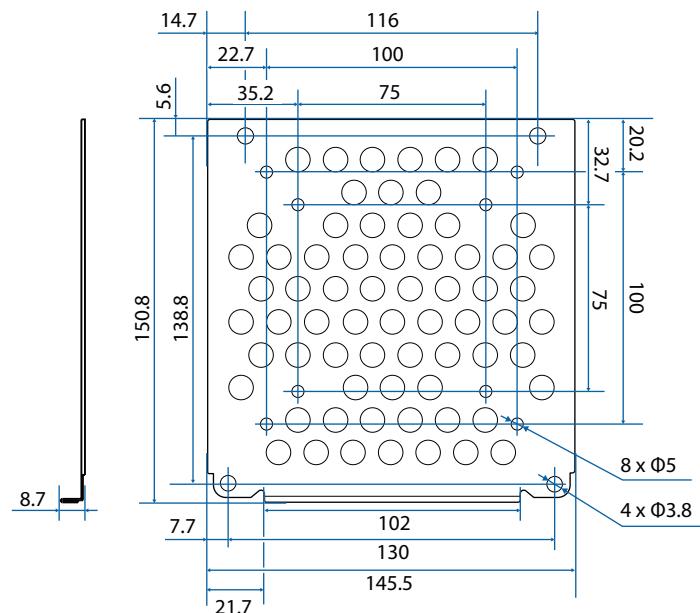
■ 水平スライド



■ 前後スライド



ミニPC取り付け用プレート



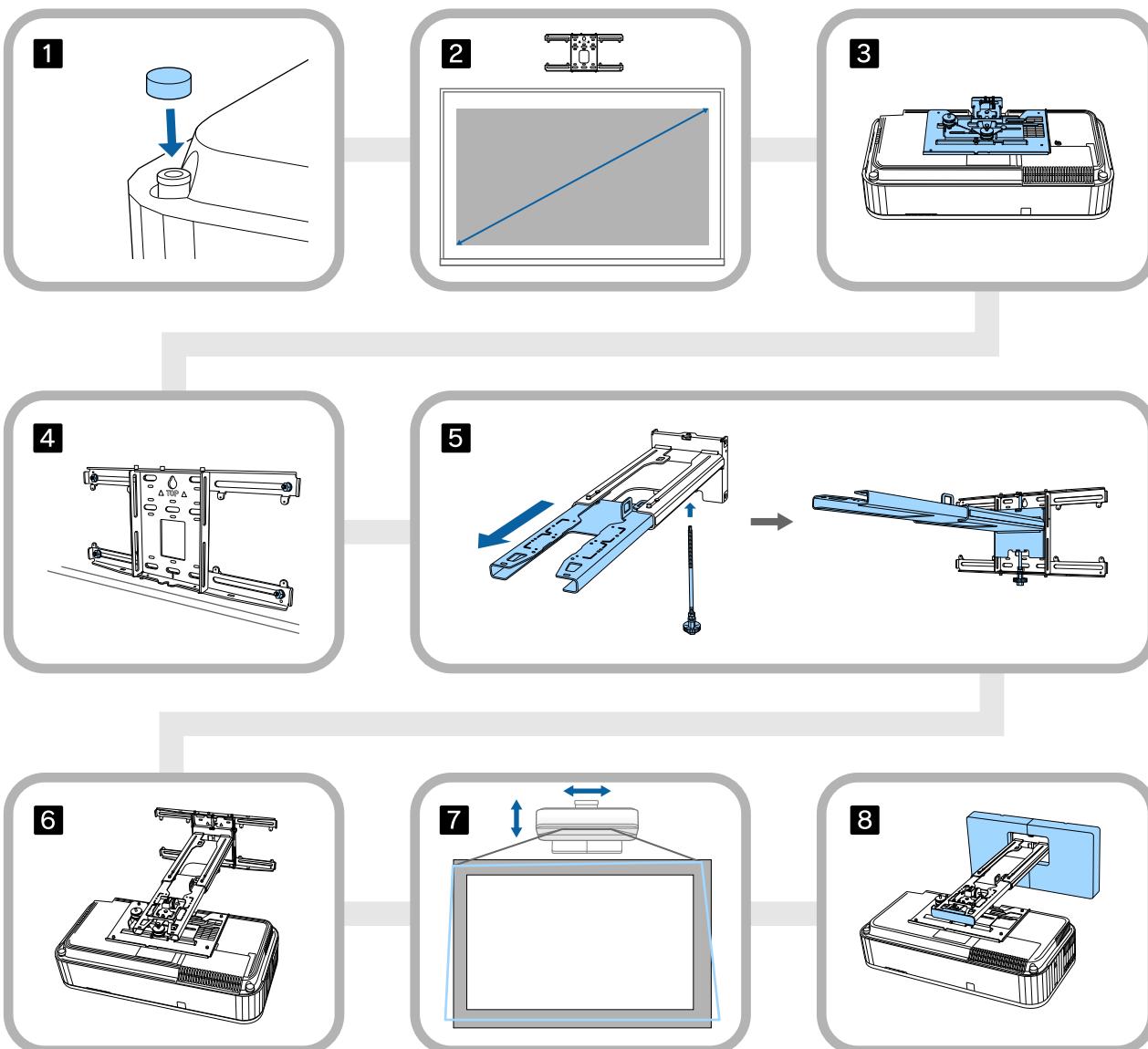
項目	仕様
PC取り付け用ネジ穴 (VESA規格対応)	75mm x 75mm 100mm x 100mm
取り付け可能なPCサイズ	150mm x 150mm x 44mm以内
取り付け可能なPC重量	0.7kg以下

セッティングプレート取り付け手順

セッティングプレートは以下の流れで取り付けます。

ケーブル類の配線は金具を取り付ける前に済ませてください。

- 1 プロジェクター本体のフットを取り外し（合計3箇所）、フロントフット部分にゴムキャップを取り付ける。
- 2 投写距離表を確認して設置位置を決める（☞ p.23）
- 3 調整ユニットを取り付ける（☞ p.45）
- 4 ウォールプレートを壁に取り付ける（☞ p.46）
- 5 アームユニットのアームの長さを調整してから、ウォールプレートに取り付ける（☞ p.48）
- 6 アームユニット調整ユニットを取り付けて、ケーブルや周辺機器を接続する（☞ p.53）
- 7 映像の位置を調整する（☞ p.56）
- 8 カバー類を取り付ける（☞ p.69）



金具の取り付け

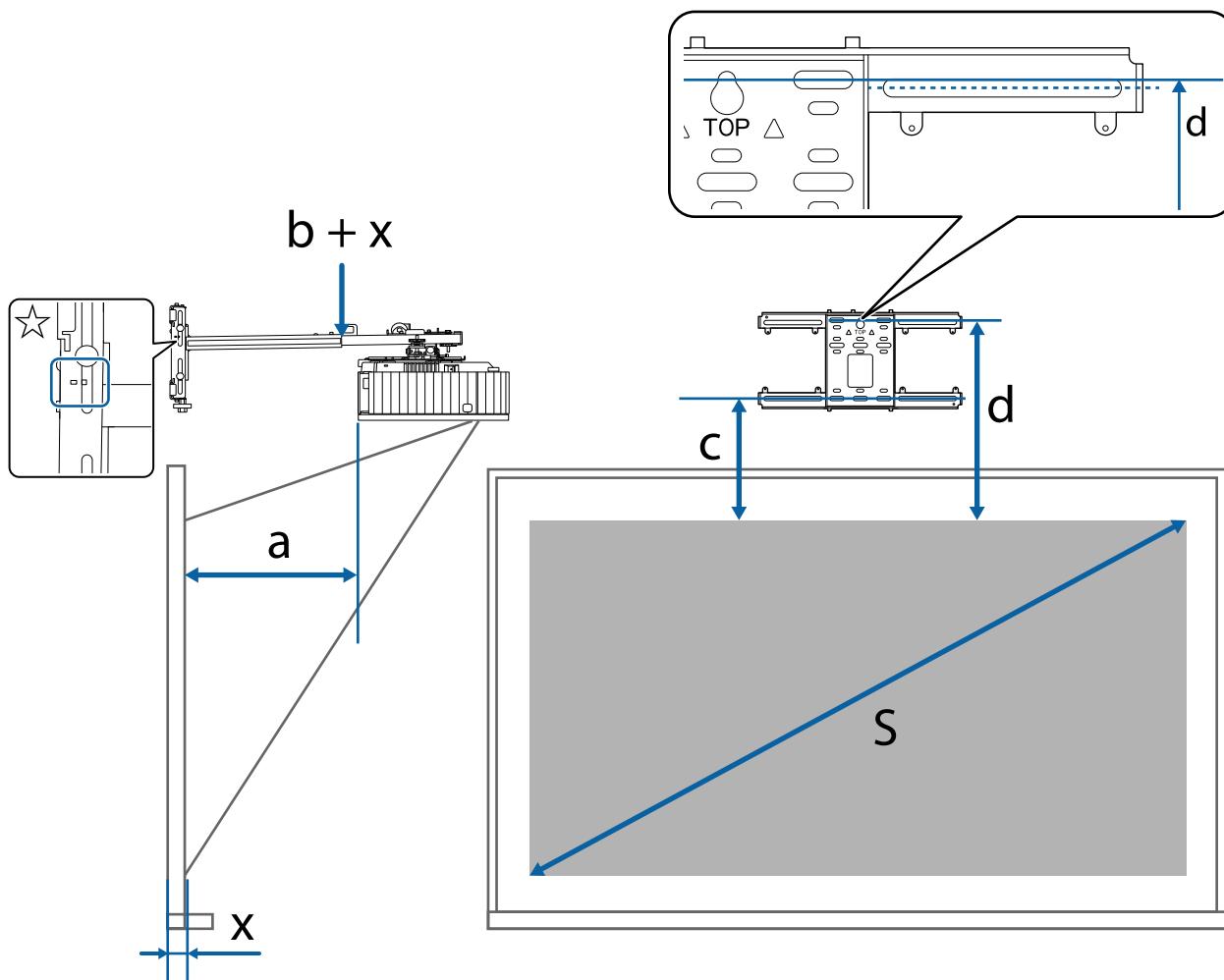
■ 設置位置を決める (投写距離表)

投写したい画面サイズ (S) に合わせて、ウォールプレートの設置位置を決めます。下図を参考に、a~dまでの数値を確認してください。アームユニットがウォールプレートの中央にあるとき（下図☆参照）の値です。

 プロジェクターを正面から見て投写面がウォールプレートより前にある場合、最小/最大投写サイズは、小さくなります。

プロジェクターを正面から見て投写面がウォールプレートより後ろにある場合、最小/最大投写サイズは、大きくなります。

最小/最大投写サイズの下限値、上限値は、仕様書に記載の【内部仕様】項のスクリーンサイズをご確認ください。



a: 投写距離最短 (ワイド)

b + x: アームユニットのアームスライド目盛りの数値 (最大266mm)

x: ウォールプレート取り付け面から投写面までの厚み

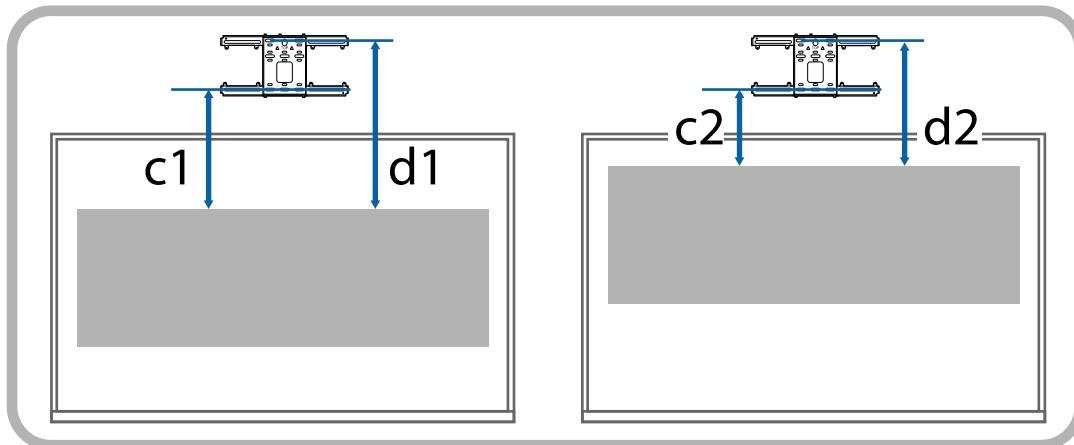
c: 映像上端からウォールプレート取り付けネジ穴 (下側) までの距離

d: 映像上端からウォールプレート仮留め用ネジ穴までの距離

S: 投写する画面サイズ

16:6または21:9のアスペクト比で投写する場合のcとdの値は下記を参照してください。

- $c1/d1$: [スクリーン位置] が中央のとき
- $c2/d2$: [スクリーン位置] が上端のとき



16：9投写画面

116型以下

[単位：mm]

S	a	b	c	d	X
80型	23	73	193	385	+73 ~ +338
81型	26	70	195	387	+70 ~ +335
82型	30	66	197	389	+66 ~ +331
83型	34	62	199	391	+62 ~ +327
84型	38	58	201	393	+58 ~ +323
85型	41	55	203	395	+55 ~ +320
86型	45	51	205	397	+51 ~ +316
87型	49	47	207	399	+47 ~ +312
88型	53	43	209	401	+43 ~ +308
89型	56	40	212	404	+40 ~ +305
90型	60	36	214	406	+36 ~ +301
91型	64	32	216	408	+32 ~ +297
92型	68	28	218	410	+28 ~ +293
93型	71	25	220	412	+25 ~ +290
94型	75	21	222	414	+21 ~ +286
95型	79	17	224	416	+17 ~ +282
96型	83	13	226	418	+13 ~ +278
97型	86	10	228	420	+10 ~ +275
98型	90	6	230	422	+6 ~ +271
99型	94	2	232	424	+2 ~ +267

セッティングプレート設置

S	a	b	c	d	X
100型	98	1	234	426	-2 ~ +264
101型	101	5	236	428	-6 ~ +260
102型	105	9	238	430	-10 ~ +256
103型	109	13	240	432	-14 ~ +252
104型	112	16	242	434	-17 ~ +249
105型	116	20	244	436	-21 ~ +245
106型	120	24	246	438	-25 ~ +241
107型	124	28	248	440	-29 ~ +237
108型	127	31	250	442	-32 ~ +234
109型	131	35	252	444	-36 ~ +230
110型	135	39	254	446	-40 ~ +226
111型	139	43	256	448	-44 ~ +222
112型	142	46	258	450	-47 ~ +219
113型	146	50	260	452	-51 ~ +215
114型	150	54	263	455	-55 ~ +211
115型	154	58	265	457	-59 ~ +207
116型	157	61	267	459	-62 ~ +204

117型以上

[単位 : mm]

S	a	b	c	d	X
117型	161	3	269	461	-4 ~ +262
118型	165	7	271	463	-8 ~ +258
119型	169	11	273	465	-12 ~ +254
120型	173	14	275	467	-15 ~ +251
121型	176	18	277	469	-19 ~ +247
122型	180	22	279	471	-23 ~ +243
123型	184	26	281	473	-27 ~ +239
124型	187	29	283	475	-30 ~ +236
125型	191	33	285	477	-34 ~ +232
126型	195	37	287	479	-38 ~ +228
127型	199	41	289	481	-42 ~ +224
128型	202	44	291	483	-45 ~ +221
129型	206	48	293	485	-49 ~ +217
130型	210	52	295	487	-53 ~ +213
131型	214	56	297	489	-57 ~ +209
132型	217	59	299	491	-60 ~ +206
133型	221	63	301	493	-64 ~ +202
134型	225	67	303	495	-68 ~ +198
135型	229	71	305	497	-72 ~ +194
136型	232	74	307	499	-75 ~ +191
137型	236	78	309	501	-79 ~ +187
138型	240	82	311	503	-83 ~ +183
139型	243	85	314	506	-86 ~ +180
140型	247	89	316	508	-90 ~ +176

セッティングプレート設置

S	a	b	c	d	X
141型	251	93	318	510	-94 ~ +172
142型	255	97	320	512	-98 ~ +168
143型	258	100	322	514	-101 ~ +165
144型	262	104	324	516	-105 ~ +161
145型	266	108	326	518	-109 ~ +157
146型	270	112	328	520	-113 ~ +153
147型	273	115	330	522	-116 ~ +150
148型	277	119	332	524	-120 ~ +146
149型	281	123	334	526	-124 ~ +142
150型	285	127	336	528	-128 ~ +138
151型	288	130	338	530	-131 ~ +135
152型	292	134	340	532	-135 ~ +131
153型	296	138	342	534	-139 ~ +127
154型	300	142	344	536	-143 ~ +123
155型	303	145	346	538	-146 ~ +120
156型	307	149	348	540	-150 ~ +116
157型	311	153	350	542	-154 ~ +112
158型	315	157	352	544	-158 ~ +108
159型	318	160	354	546	-161 ~ +105
160型	322	164	356	548	-165 ~ +101

16:10投写画面

116型以下

[単位: mm]

S	a	b	c	d	X
74型	23	73	193	385	+73 ~ +338
75型	27	69	195	387	+69 ~ +334
76型	31	65	198	390	+65 ~ +330
77型	35	61	200	392	+61 ~ +326
78型	39	57	202	394	+57 ~ +322
79型	43	53	204	396	+53 ~ +318
80型	47	49	206	398	+49 ~ +314
81型	51	45	209	401	+45 ~ +310
82型	55	41	211	403	+41 ~ +306
83型	59	37	213	405	+37 ~ +302
84型	63	33	215	407	+33 ~ +298
85型	67	29	217	409	+29 ~ +294
86型	71	25	220	412	+25 ~ +290
87型	75	21	222	414	+21 ~ +286
88型	79	17	224	416	+17 ~ +282
89型	83	13	226	418	+13 ~ +278
90型	87	9	228	420	+9 ~ +274
91型	91	5	231	423	+5 ~ +270
92型	95	1	233	425	+1 ~ +266

セッティングプレート設置

S	a	b	c	d	X
93型	100	4	235	427	-5 ~ +261
94型	104	8	237	429	-9 ~ +257
95型	108	12	239	431	-13 ~ +253
96型	112	16	242	434	-17 ~ +249
97型	116	20	244	436	-21 ~ +245
98型	120	24	246	438	-25 ~ +241
99型	124	28	248	440	-29 ~ +237
100型	128	32	251	443	-33 ~ +233
101型	132	36	253	445	-37 ~ +229
102型	136	40	255	447	-41 ~ +225
103型	140	44	257	449	-45 ~ +221
104型	144	48	259	451	-49 ~ +217
105型	148	52	262	454	-53 ~ +213
106型	152	56	264	456	-57 ~ +209
107型	156	60	266	458	-61 ~ +205
108型	160	64	268	460	-65 ~ +201
109型	164	68	270	462	-69 ~ +197
110型	169	72	273	465	-73 ~ +193
111型	172	76	275	467	-77 ~ +189
112型	176	80	277	469	-81 ~ +185
113型	180	84	279	471	-85 ~ +181
114型	184	88	281	473	-89 ~ +177
115型	189	93	284	476	-94 ~ +172
116型	193	97	286	478	-98 ~ +168

117型以上

[単位: mm]

S	a	b	c	d	X
117型	197	39	288	480	-40 ~ +226
118型	201	43	290	482	-44 ~ +222
119型	205	47	292	484	-48 ~ +218
120型	209	51	295	487	-52 ~ +214
121型	213	55	297	489	-56 ~ +210
122型	217	59	299	491	-60 ~ +206
123型	221	63	301	493	-64 ~ +202
124型	225	67	303	495	-68 ~ +198
125型	229	71	306	498	-72 ~ +194
126型	233	75	308	500	-76 ~ +190
127型	237	79	310	502	-80 ~ +186
128型	241	83	312	504	-84 ~ +182
129型	245	87	314	506	-88 ~ +178
130型	249	91	317	509	-92 ~ +174
131型	253	95	319	511	-96 ~ +170
132型	257	99	321	513	-100 ~ +166
133型	261	103	323	515	-104 ~ +162
134型	265	107	325	517	-108 ~ +158
135型	269	111	328	520	-112 ~ +154
136型	274	116	330	522	-117 ~ +149
137型	278	120	332	524	-121 ~ +145
138型	282	124	334	526	-125 ~ +141
139型	286	128	337	529	-129 ~ +137
140型	290	132	339	531	-133 ~ +133

セッティングプレート設置

S	a	b	c	d	X
144型	306	148	348	540	-149 ~ +117
145型	310	152	350	542	-153 ~ +113
146型	314	156	352	544	-157 ~ +109
147型	318	160	354	546	-161 ~ +105
148型	322	164	356	548	-165 ~ +101

4：3投写画面

116型以下

[単位：mm]

S	a	b	c	d	X
66型	26	70	195	387	+70 ~ +335
67型	30	66	197	389	+66 ~ +331
68型	35	61	200	392	+61 ~ +326
69型	39	57	202	394	+57 ~ +322
70型	44	52	205	397	+52 ~ +317
71型	48	48	207	399	+48 ~ +313
72型	53	43	210	402	+43 ~ +308
73型	58	38	212	404	+38 ~ +303
74型	62	34	215	407	+34 ~ +299
75型	67	29	217	409	+29 ~ +294
76型	71	25	220	412	+25 ~ +290
77型	76	20	222	414	+20 ~ +285
78型	80	16	225	417	+16 ~ +281
79型	85	11	227	419	+11 ~ +276
80型	90	6	230	422	+6 ~ +271
81型	94	2	232	424	+2 ~ +267

セッティングプレート設置

S	a	b	c	d	X
82型	99	3	235	427	-4 ~ +262
83型	103	7	237	429	-8 ~ +258
84型	108	12	240	432	-13 ~ +253
85型	113	17	242	434	-18 ~ +248
86型	117	21	245	437	-22 ~ +244
87型	122	26	247	439	-27 ~ +239
88型	126	30	250	442	-31 ~ +235
89型	131	35	252	444	-36 ~ +230
90型	136	39	255	447	-40 ~ +226
91型	140	44	257	449	-45 ~ +221
92型	145	49	260	452	-50 ~ +216
93型	149	53	262	454	-54 ~ +212
94型	154	58	265	457	-59 ~ +207
95型	158	62	267	459	-63 ~ +203
96型	163	67	270	462	-68 ~ +198
97型	168	72	272	464	-73 ~ +193
98型	172	76	275	467	-77 ~ +189
99型	177	81	277	469	-82 ~ +184
100型	181	85	280	472	-86 ~ +180
101型	186	90	282	474	-91 ~ +175
102型	190	94	285	477	-95 ~ +171
103型	195	99	287	479	-100 ~ +166
104型	200	104	290	482	-105 ~ +161
105型	204	108	292	484	-109 ~ +157

S	a	b	c	d	X
106型	209	113	295	487	-114 ~ +152
107型	213	117	297	489	-118 ~ +148
108型	218	122	300	492	-123 ~ +143
109型	223	127	302	494	-128 ~ +138
110型	227	131	305	497	-132 ~ +134
111型	232	136	307	499	-137 ~ +129
112型	236	140	310	502	-141 ~ +125
113型	241	145	312	504	-146 ~ +120
114型	245	149	315	507	-150 ~ +116
115型	250	154	317	509	-155 ~ +111
116型	255	159	320	512	-160 ~ +106

117型以上

[単位 : mm]

S	a	b	c	d	X
117型	259	101	322	514	-102 ~ +164
118型	264	106	325	517	-107 ~ +159
119型	268	110	327	519	-111 ~ +155
120型	273	115	330	522	-116 ~ +150
121型	278	120	332	524	-121 ~ +145
122型	282	124	335	527	-125 ~ +141
123型	287	129	337	529	-130 ~ +136
124型	291	133	340	532	-134 ~ +132
125型	296	138	342	534	-139 ~ +127
126型	300	142	345	537	-143 ~ +123
127型	305	147	347	539	-148 ~ +118
128型	310	152	350	542	-153 ~ +113
129型	314	156	352	544	-157 ~ +109
130型	319	161	355	547	-162 ~ +104

16:6投写画面

116型以下

[単位: mm]

S	a	b	c	d	X
75型	25	71	362	554	+71 ~ +336
76型	29	67	366	558	+67 ~ +332
77型	33	63	370	562	+63 ~ +328
78型	37	59	375	567	+59 ~ +324
79型	41	55	379	571	+55 ~ +320
80型	45	51	384	576	+51 ~ +316
81型	49	47	388	580	+47 ~ +312
82型	53	43	393	585	+43 ~ +308
83型	57	39	397	589	+39 ~ +304
84型	61	35	401	593	+35 ~ +300
85型	65	31	406	598	+31 ~ +296
86型	69	27	410	602	+27 ~ +292
87型	73	23	415	607	+23 ~ +288
88型	77	19	419	611	+19 ~ +284
89型	81	15	423	615	+15 ~ +280
90型	85	11	428	620	+11 ~ +276
91型	89	7	432	624	+7 ~ +272
92型	93	3	437	629	+3 ~ +268

セッティングプレート設置

S	a	b	c	d	X
93型	97	1	441	633	-2 ~ +264
94型	101	5	446	638	-6 ~ +260
95型	105	9	450	642	-10 ~ +256
96型	109	13	454	646	-14 ~ +252
97型	113	17	459	651	-18 ~ +248
98型	117	21	463	655	-22 ~ +244
99型	121	25	468	660	-26 ~ +240
100型	126	29	472	664	-30 ~ +236
101型	129	33	477	669	-34 ~ +232
102型	133	37	481	673	-38 ~ +228
103型	137	41	485	677	-42 ~ +224
104型	141	45	490	682	-46 ~ +220
105型	145	49	494	686	-50 ~ +216
106型	149	53	499	691	-54 ~ +212
107型	153	57	503	695	-58 ~ +208
108型	157	61	507	699	-62 ~ +204
109型	162	66	512	704	-67 ~ +199
110型	166	70	516	708	-71 ~ +195
111型	170	74	521	713	-75 ~ +191
112型	174	78	525	717	-79 ~ +187
113型	178	82	530	722	-83 ~ +183
114型	182	86	534	726	-87 ~ +179
115型	186	90	538	730	-91 ~ +175
116型	190	94	543	735	-95 ~ +171

117型以上

[単位 : mm]

S	a	b	c	d	X
117型	194	36	547	739	-37 ~ +229
118型	198	40	552	744	-41 ~ +225
119型	202	44	556	748	-45 ~ +221
120型	206	48	561	753	-49 ~ +217
121型	210	52	565	757	-53 ~ +213
122型	214	56	569	761	-57 ~ +209
123型	218	60	574	766	-61 ~ +205
124型	222	64	578	770	-65 ~ +201
125型	226	68	583	775	-69 ~ +197
126型	230	72	587	779	-73 ~ +193
127型	234	76	591	783	-77 ~ +189
128型	238	80	596	788	-81 ~ +185
129型	242	84	600	792	-85 ~ +181
130型	246	88	605	797	-89 ~ +177
131型	250	92	609	801	-93 ~ +173
132型	254	96	614	806	-97 ~ +169
133型	258	100	618	810	-101 ~ +165
134型	262	104	622	814	-105 ~ +161
135型	266	108	627	819	-109 ~ +157
136型	270	112	631	823	-113 ~ +153
137型	274	116	636	828	-117 ~ +149
138型	278	120	640	832	-121 ~ +145
139型	282	124	645	837	-125 ~ +141
140型	286	128	649	841	-129 ~ +137

セッティングプレート設置

S	a	b	c	d	X
141型	290	132	653	845	-133 ~ +133
142型	294	136	658	850	-137 ~ +129
143型	298	140	662	854	-141 ~ +125
144型	302	144	667	859	-145 ~ +121
145型	306	148	671	863	-149 ~ +117
146型	310	152	675	867	-153 ~ +113
147型	314	156	680	872	-157 ~ +109
148型	319	160	684	876	-161 ~ +105

21：9投写画面

116型以下

[単位：mm]

S	a	b	c	d	X
76型	23	73	312	504	+73～+338
77型	27	69	316	508	+69～+334
78型	31	65	320	512	+65～+330
79型	35	61	323	515	+61～+326
80型	39	57	327	519	+57～+322
81型	43	53	331	523	+53～+318
82型	47	49	335	527	+49～+314
83型	51	45	338	530	+45～+310
84型	55	41	342	534	+41～+306
85型	59	37	346	538	+37～+302
86型	63	33	349	541	+33～+298
87型	67	29	353	545	+29～+294
88型	71	25	357	549	+25～+290
89型	75	21	361	553	+21～+286
90型	78	18	364	556	+18～+283
91型	82	14	368	560	+14～+279
92型	86	10	372	564	+10～+275
93型	90	6	375	567	+6～+271
94型	94	2	379	571	+2～+267

セッティングプレート設置

S	a	b	c	d	X
95型	98	2	383	575	-3 ~ +263
96型	102	6	387	579	-7 ~ +259
97型	106	10	390	582	-11 ~ +255
98型	110	14	394	586	-15 ~ +251
99型	114	18	398	590	-19 ~ +247
100型	118	22	401	593	-23 ~ +243
101型	122	26	405	597	-27 ~ +239
102型	126	30	409	601	-31 ~ +235
103型	130	34	413	605	-35 ~ +231
104型	134	38	416	608	-39 ~ +227
105型	138	42	420	612	-43 ~ +223
106型	142	46	424	616	-47 ~ +219
107型	146	50	427	619	-51 ~ +215
108型	150	54	431	623	-55 ~ +211
109型	153	57	435	627	-58 ~ +208
110型	158	61	439	631	-62 ~ +204
111型	161	65	442	634	-66 ~ +200
112型	165	69	446	638	-70 ~ +196
113型	169	73	450	642	-74 ~ +192
114型	173	77	453	645	-78 ~ +188
115型	177	81	457	649	-82 ~ +184
116型	181	85	461	653	-86 ~ +180

117型以上

[単位: mm]

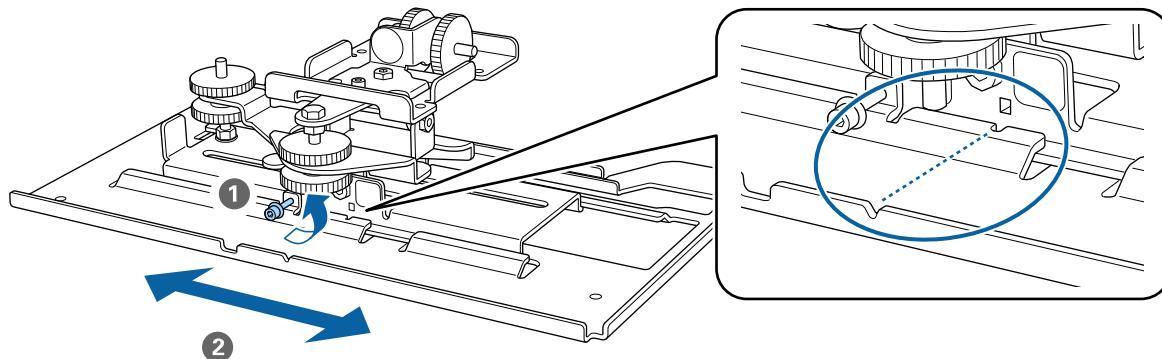
S	a	b	c	d	X
117型	185	27	465	657	-28 ~ +238
118型	189	31	468	660	-32 ~ +234
119型	193	35	472	664	-36 ~ +230
120型	197	39	476	668	-40 ~ +226
121型	201	43	479	671	-44 ~ +222
122型	205	47	483	675	-48 ~ +218
123型	209	51	487	679	-52 ~ +214
124型	213	55	491	683	-56 ~ +210
125型	217	59	494	686	-60 ~ +206
126型	221	63	498	690	-64 ~ +202
127型	225	67	502	694	-68 ~ +198
128型	228	70	505	697	-71 ~ +195
129型	232	74	509	701	-75 ~ +191
130型	237	78	513	705	-79 ~ +187
131型	240	82	517	709	-83 ~ +183
132型	244	86	520	712	-87 ~ +179
133型	248	90	524	716	-91 ~ +175
134型	252	94	528	720	-95 ~ +171
135型	256	98	531	723	-99 ~ +167
136型	260	102	535	727	-103 ~ +163
137型	264	106	539	731	-107 ~ +159
138型	268	110	543	735	-111 ~ +155
139型	272	114	546	738	-115 ~ +151
140型	276	118	550	742	-119 ~ +147

S	a	b	c	d	X
141型	280	122	554	746	-123 ~ +143
142型	284	126	557	749	-127 ~ +139
143型	288	130	561	753	-131 ~ +135
144型	292	134	565	757	-135 ~ +131
145型	296	138	569	761	-139 ~ +127
146型	300	142	572	764	-143 ~ +123
147型	303	145	576	768	-146 ~ +120
148型	307	149	580	772	-150 ~ +116
149型	311	153	583	775	-154 ~ +112
150型	315	157	587	779	-158 ~ +108
151型	319	161	591	783	-162 ~ +104

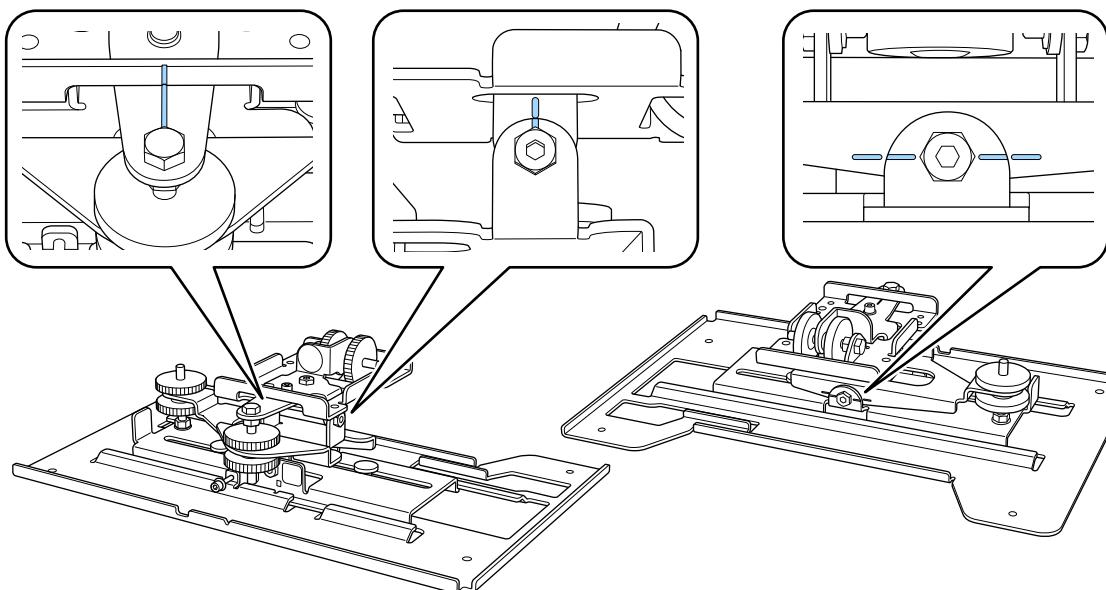
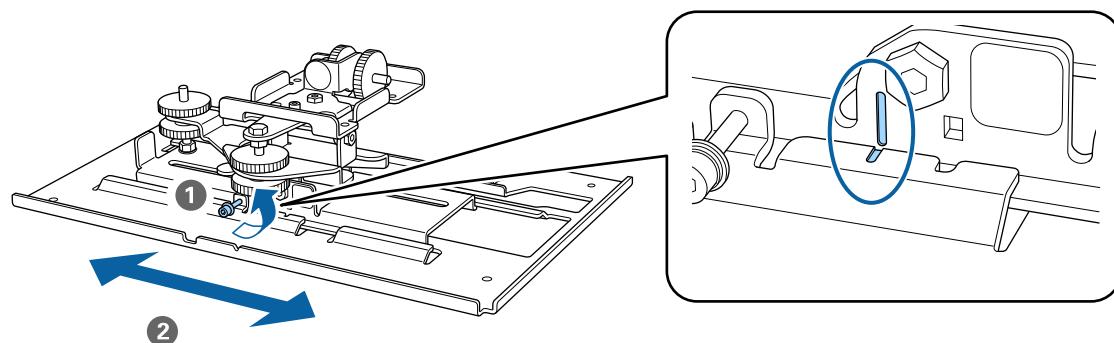
■ 調整ユニットを取り付ける

- 1 調整ユニットのM4ボルトを緩めてから、各パーツの目印の位置を合わせる
位置が合ったらM4ボルトを締め直します。

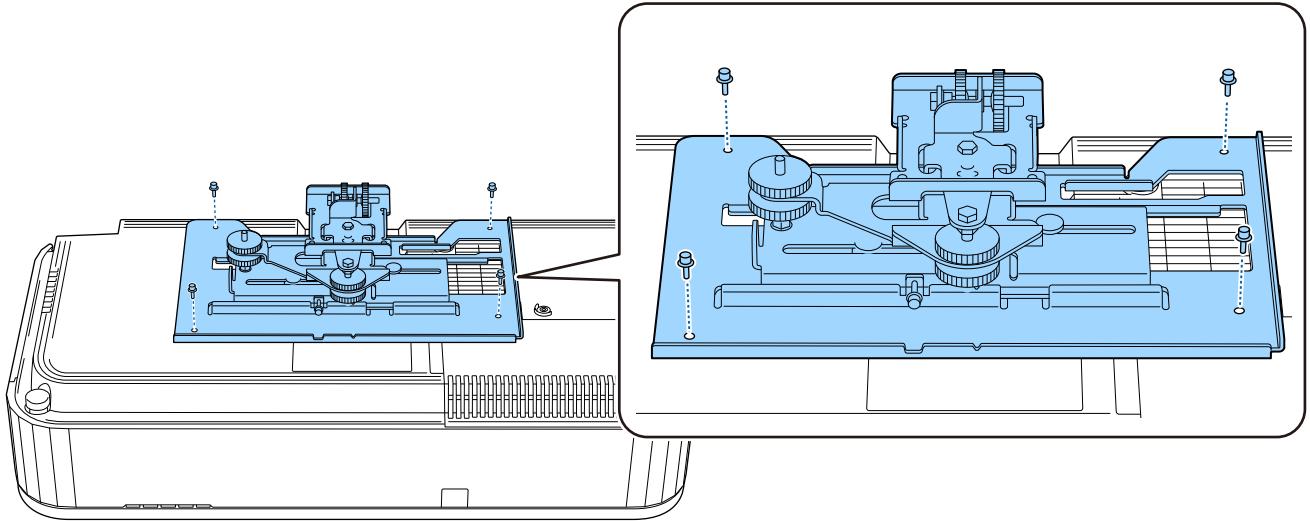
- 調整ユニットに刻印がないモデル



- 調整ユニットに刻印があるモデル
刻印の中心が合うように調整します。



- 2 同梱のM4 x 12mmボルト（4本）で、調整ユニットをプロジェクターの底面に固定する

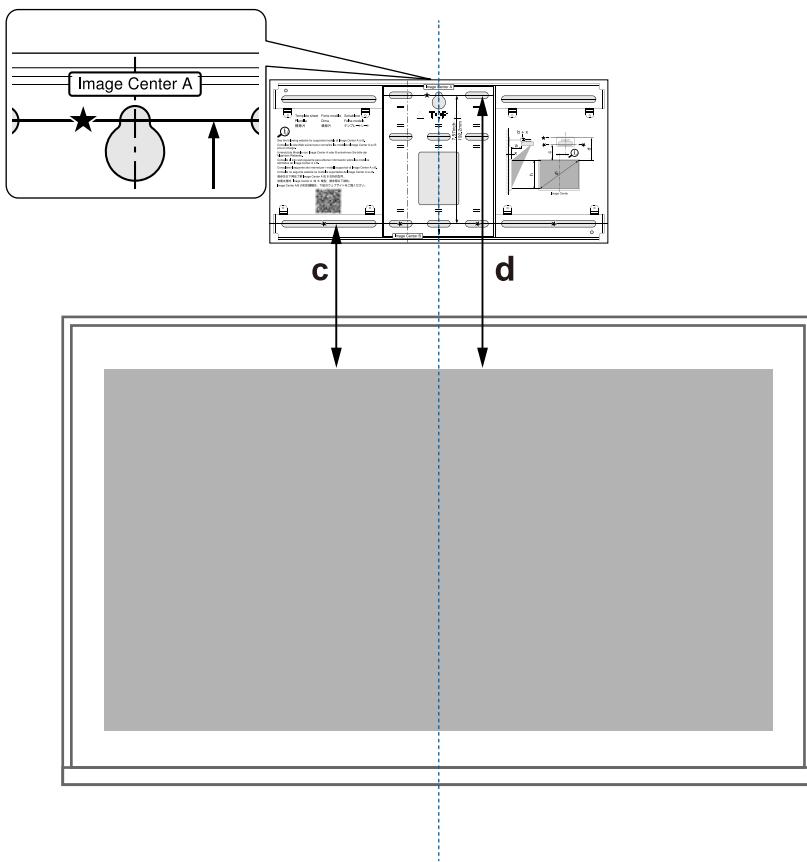


■ ウォールプレートを取り付ける

- 1 テンプレートシートを壁に貼る

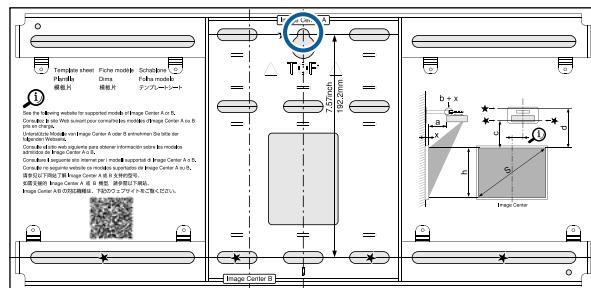
投写距離表（p.23）で確認した設置位置に合わせて、テンプレートシートを貼りつけます。

投写する画面の中心位置を、テンプレートシートのImage Center Aに合わせてください。



2

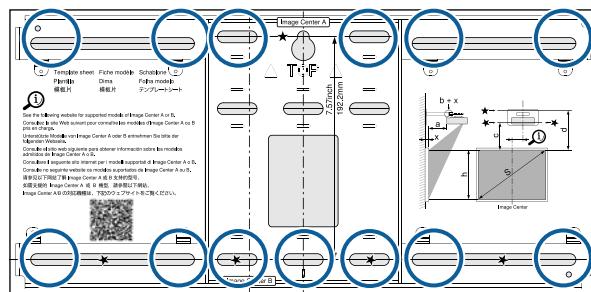
ウォールプレートの仮留め用ネジ穴の位置に市販のM10ネジを打つ
壁とネジ頭部の間を6mm以上空けてください。



3

ウォールプレートの取り付け穴をあける位置を決める

下図のネジ穴の中から、上下左右で均等にバランスがとれる4箇所以上を固定してください。



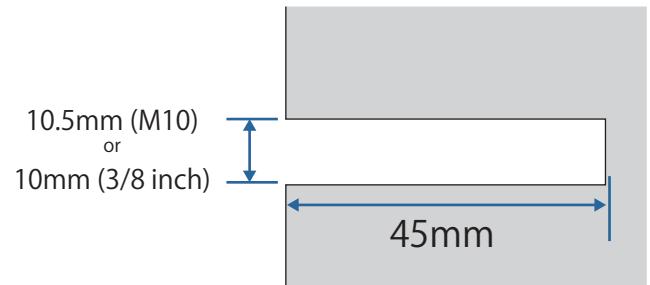
4

ドリルで壁に穴をあける

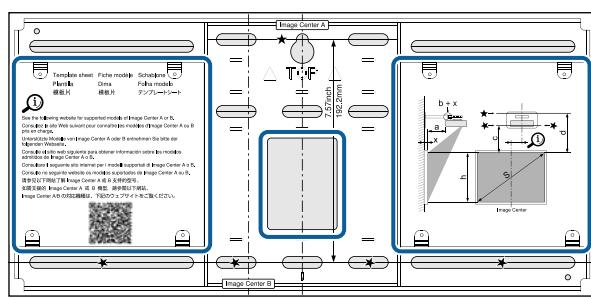
ドリル径：10.5mm (M10)または10mm
(3/8インチ)

下穴深さ：45mm

埋込深さ：40mm



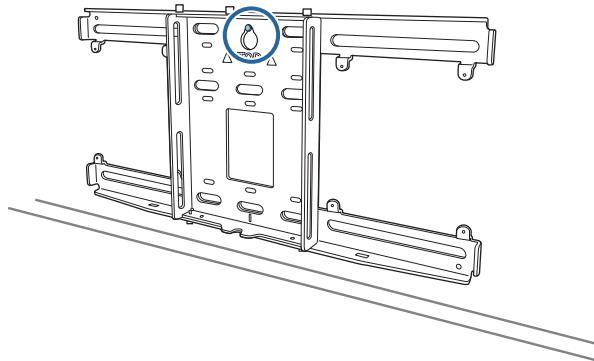
プロジェクターに配線するケーブルを壁の中に通すときは、下図で示す範囲内に穴を開けて、ケーブル配線穴として使用できます。



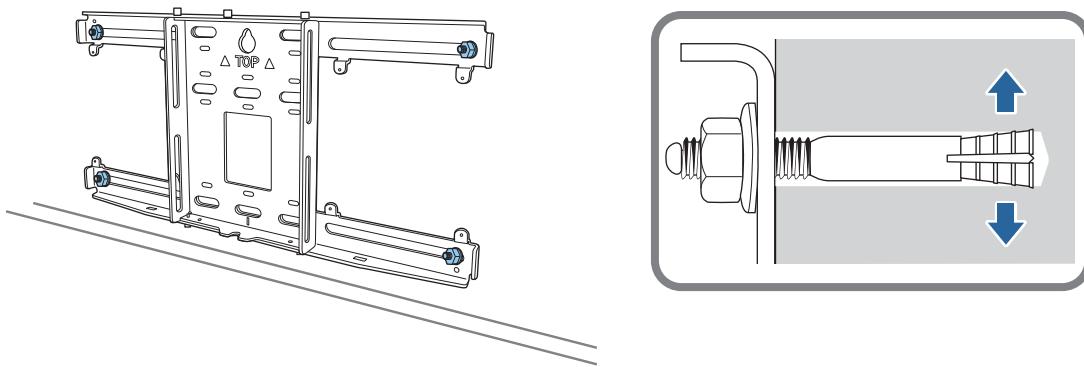
5

テンプレートシートを取り外す

- 6 手順2で打った仮留め用のM10ネジにウォールプレートをひっかけて配置する



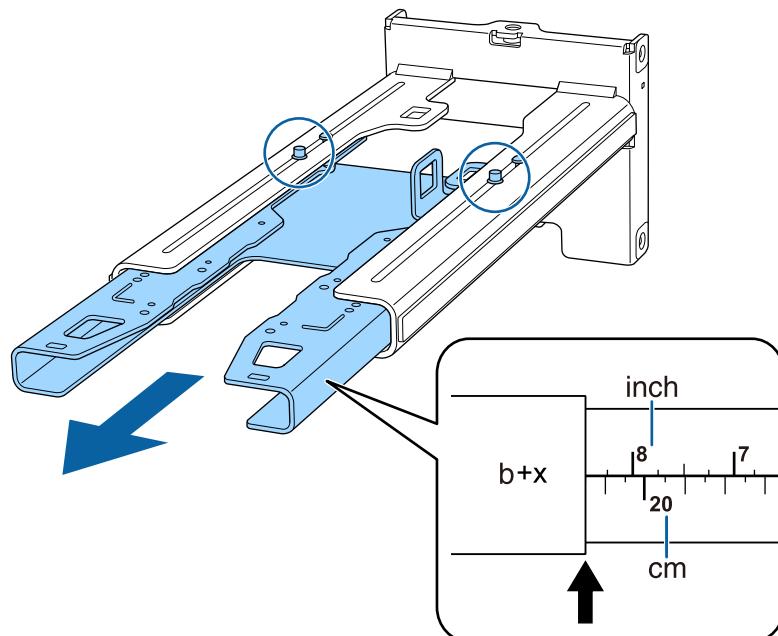
- 7 手順4であけた穴を使って、ウォールプレートを市販のM10または3/8インチ x 60mmアンカーボルトで固定する



■ アームユニットを取り付ける

- 1 M4 x 12mmボルト (2本) を緩めてから、アームユニットのアームスライドを引き出す

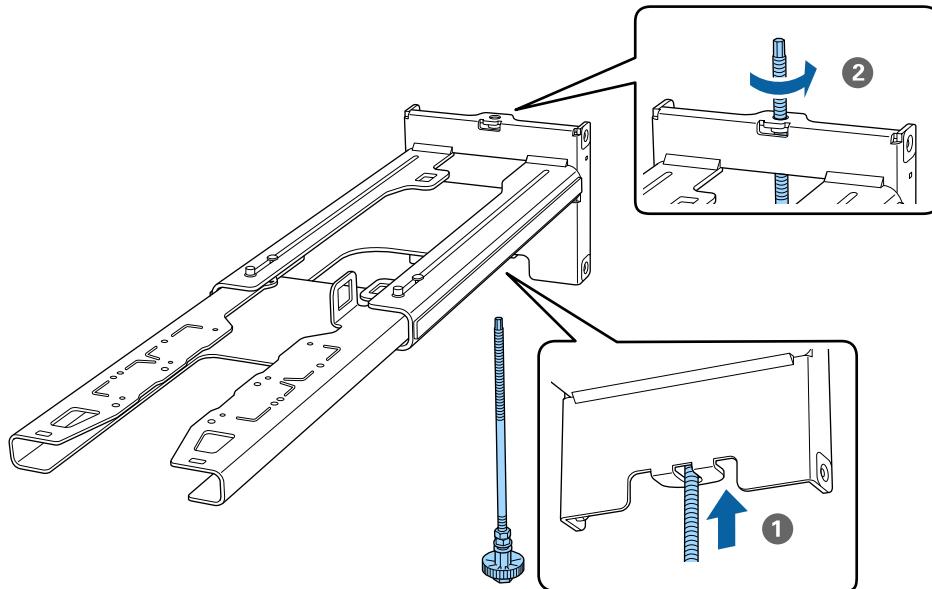
投写距離表 (p.23) で確認した (b) の値に、ウォールプレート取り付け面から投写面までの厚み (x) を足した合計距離をスライダーの目盛りに合わせます。



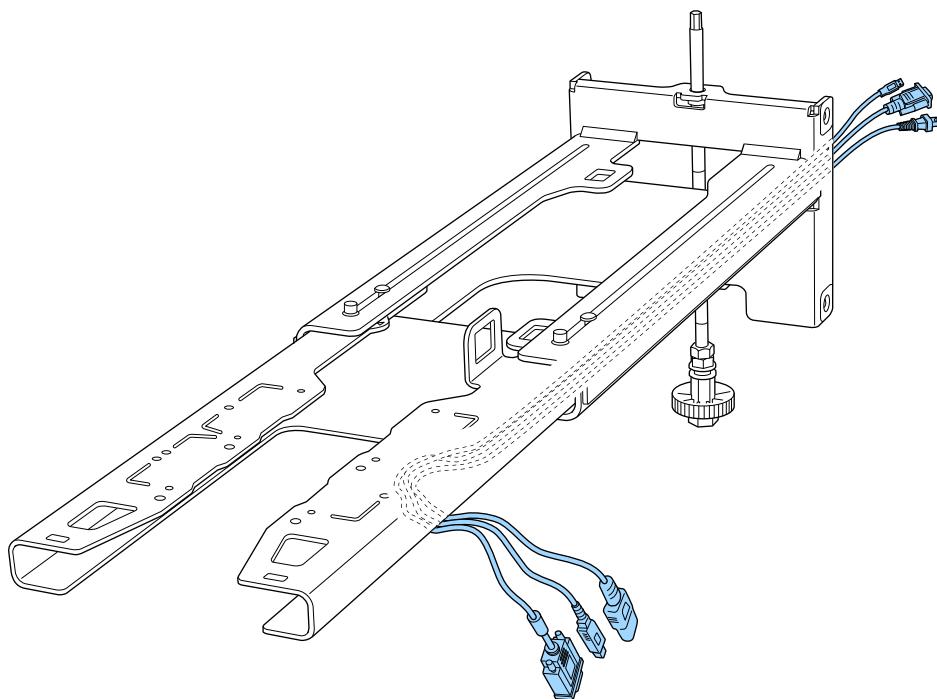
2 六角軸をアームユニットに差し込む

六角軸に白い目印*がある場合は、目印をセッティングプレート上端に合わせます。

*目印は削れることができます、金具の不具合ではありません。



3 必要なケーブル類をアームユニット内に通す



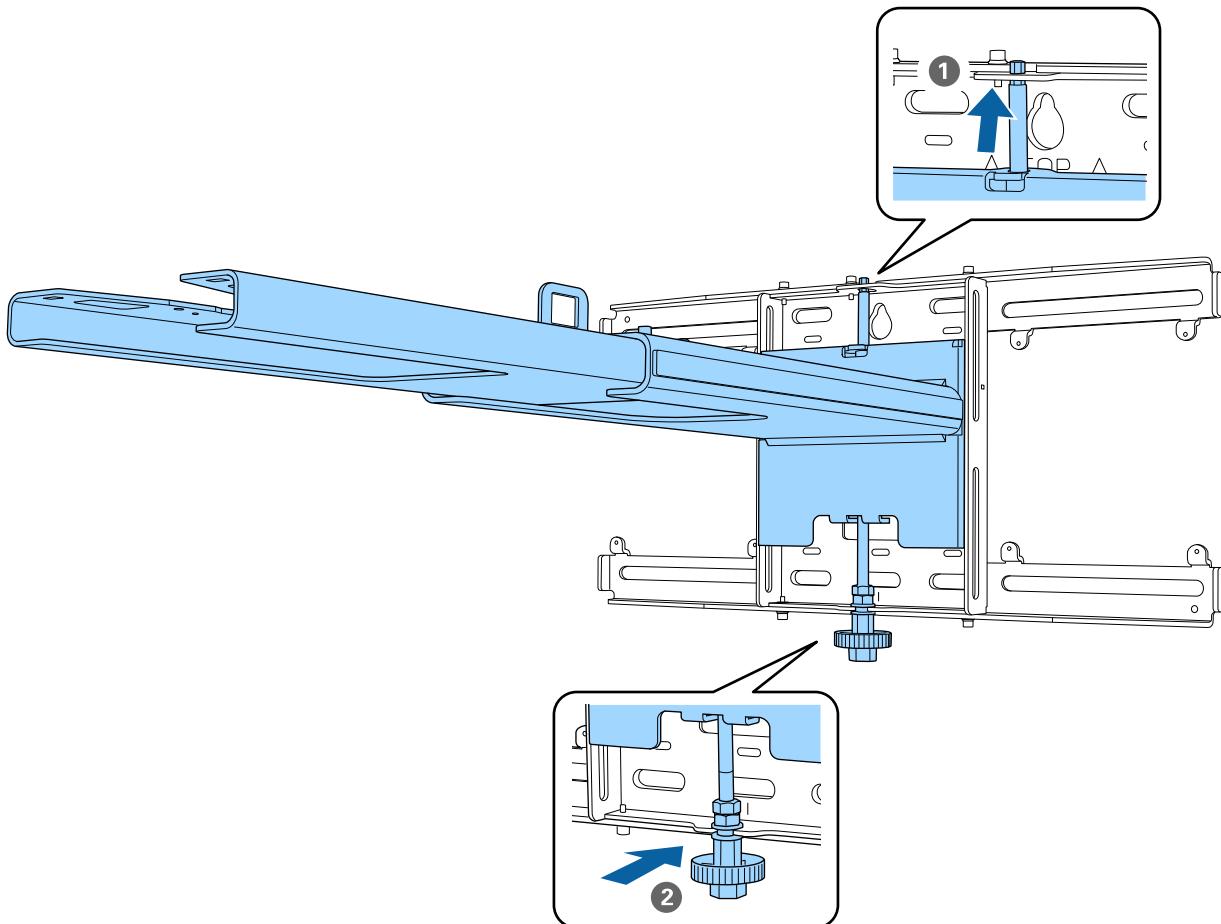
余ったケーブルをアームユニットの上に乗せないでください。落下事故の原因となります。



ミニPC等、周辺機器に接続するためのケーブル端子は、壁内等に通さずアームユニットの下方へ出るようにしてください。

4 アームユニットをウォールプレートに組み付ける

六角軸の上部を差し込んでから、下部を差し込みます。



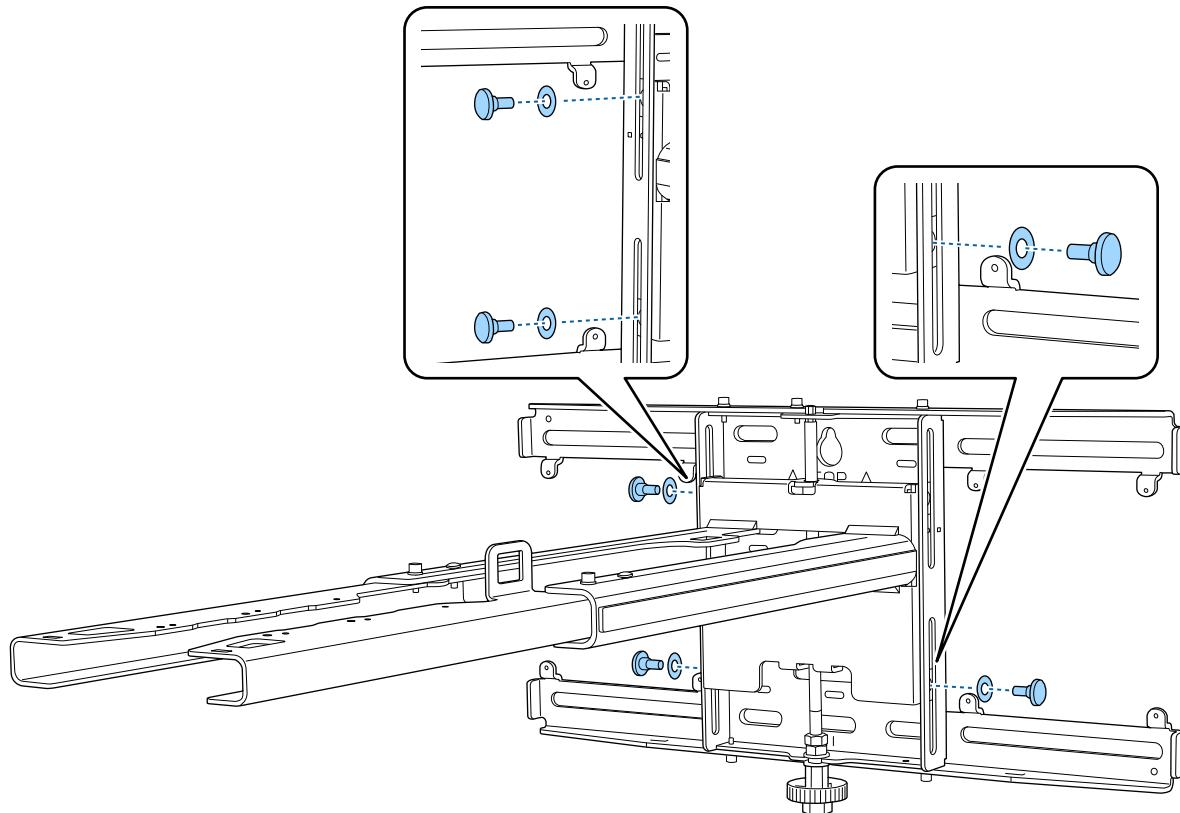
⚠ 注意

アームユニットとウォールプレートの間にケーブル類を挟まないように注意してください。

5

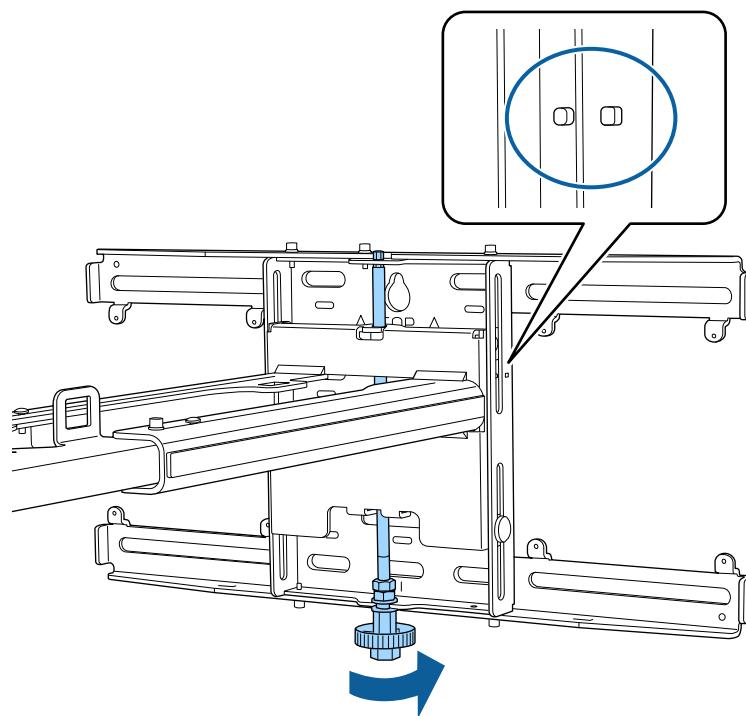
アームユニットを仮固定する

同梱のM6ネジ（3本）で、3箇所を固定します。

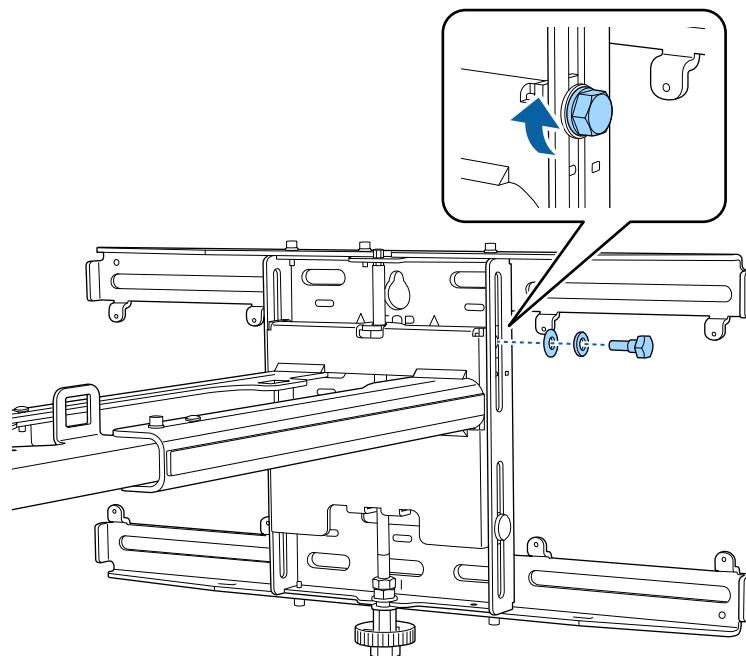


6

上下スライドを両口スパナで調整して、ウォールプレートとアームユニットの目印の位置を合わせる



7 M6ボルト (1本) で、アームユニットの位置を固定する

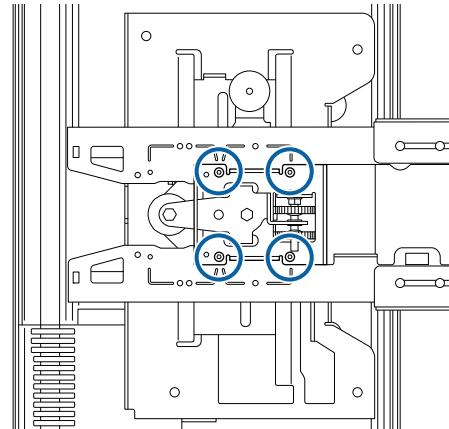


■ アームユニットに調整ユニットを取り付ける

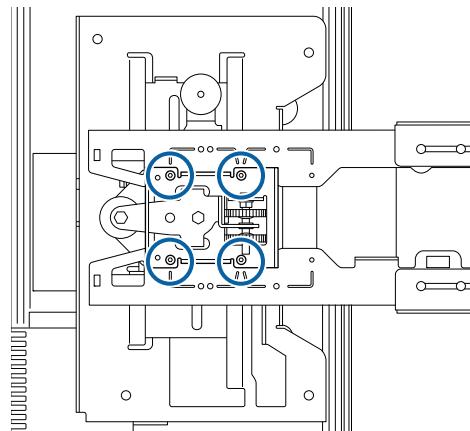
1 調整ユニットの取り付け位置を確認する

取り付け位置はアームユニットに目印が刻印されています。投写したい画面サイズに合わせて適切な位置に取り付けます。

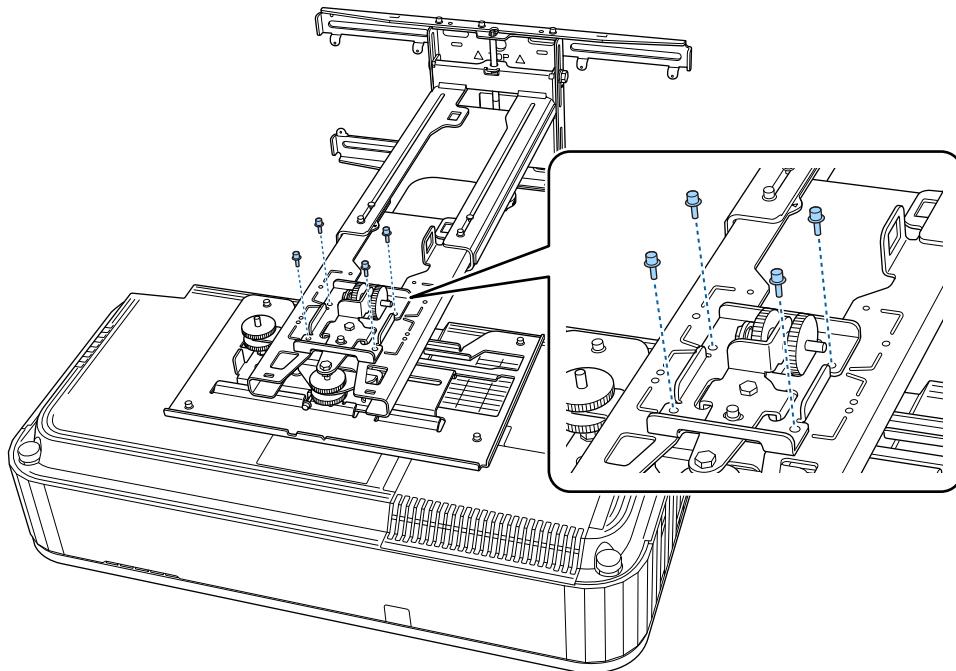
- 117型未満の画面を投写する場合：○の箇所に取り付けます。



- 117型以上の画面を投写する場合：○○の箇所に取り付けます。



- 2 同梱のM4 x 12mmボルト（4本）で、調整ユニットをアームユニットに固定する

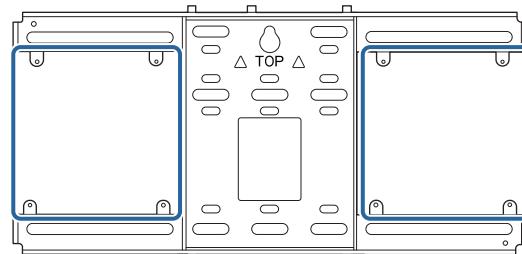


- 3 ケーブル類をプロジェクターに接続する

電源コードは最後に接続してください。

■ 周辺機器を取り付ける

ミニPC・スティックPCは、ミニPC用プレートに取り付けてウォールプレートの左右いずれかに固定します。

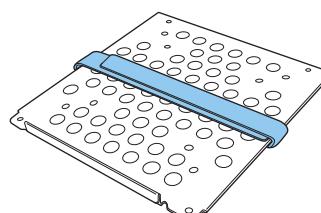


PCの吸排気口をふさがない向きで取り付けてください。

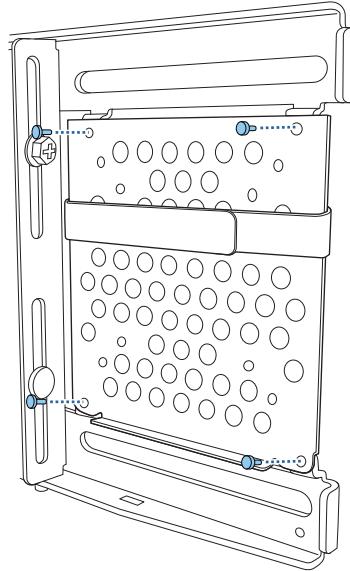
上側に排気口、下側に吸気口が来るよう設置することをお勧めします。

ミニPC用ベルトで固定する場合

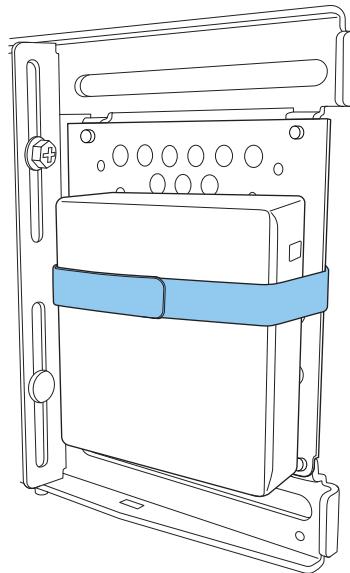
- 1 ミニPC用プレートにベルトを巻きつける



- 2 同梱のM3x6mmネジ（4本）を使って、ミニPC用プレートをウォールプレートに固定する



- 3 ミニPC用プレートの下側の突起にPC本体をのせて、ベルトで固定する

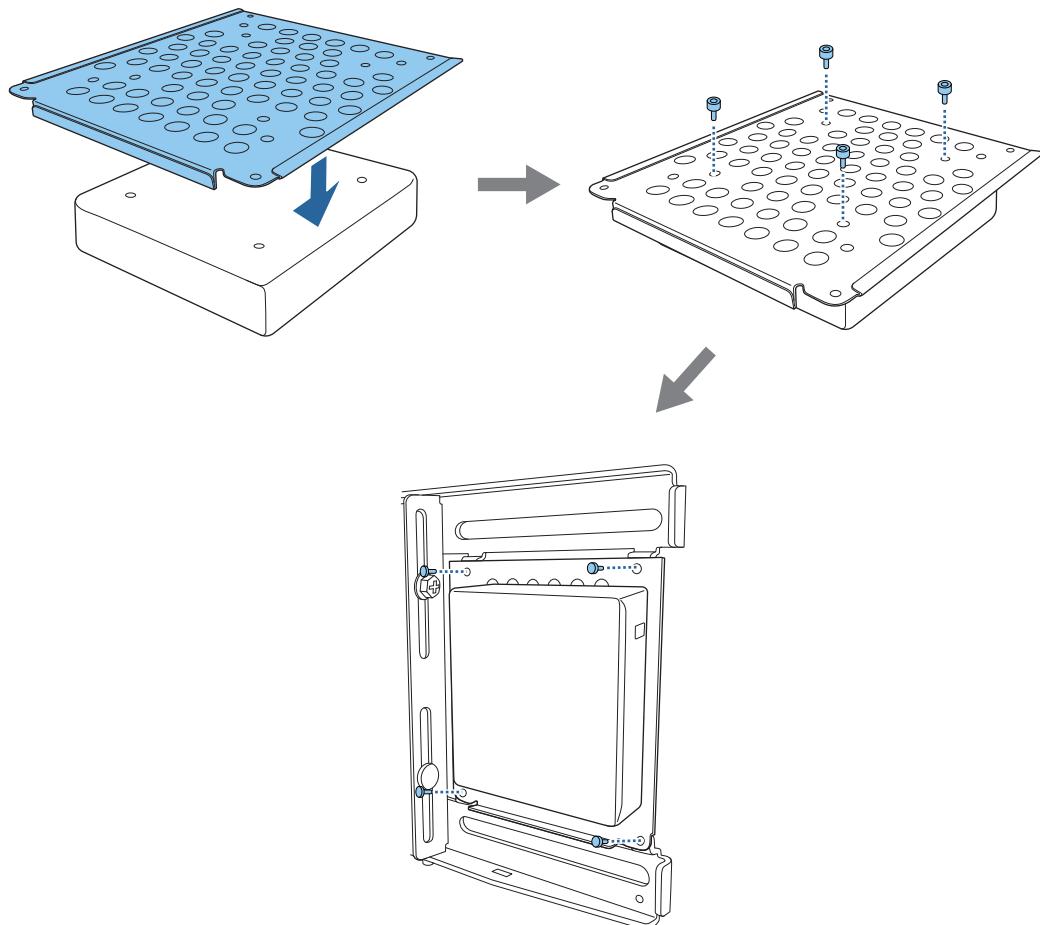


ネジで固定する場合

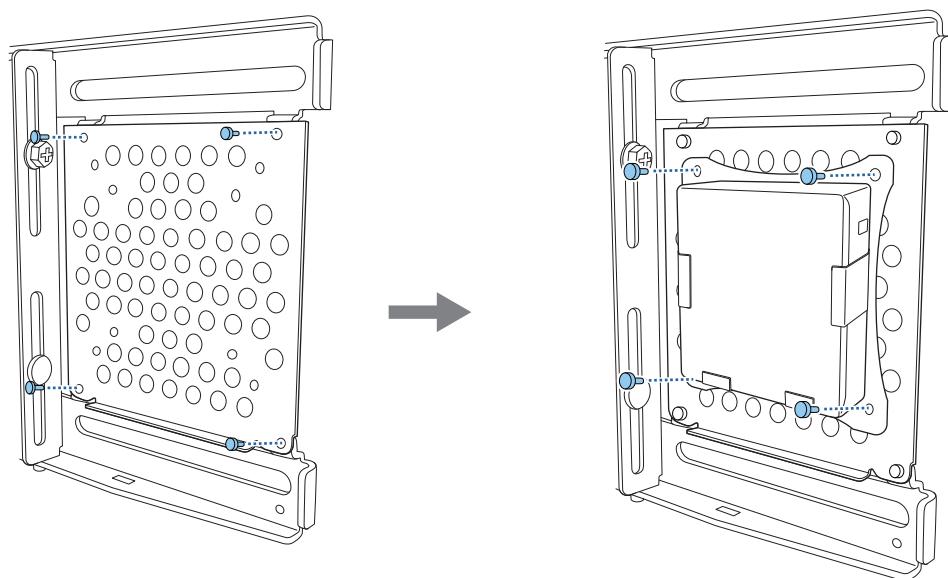
お使いのミニPCの形状やネジ穴の向きによって、取り付ける順番が異なります。事前に取り付け手順をご確認ください。

取り付け例

- PCを取り付けたミニPC用プレートを、同梱のM3x6mmネジ（4本）を使ってウォールプレートに固定する



- 同梱のM3x6mmネジ（4本）を使ってウォールプレートにミニPC用プレートを固定してから、PCを取り付ける



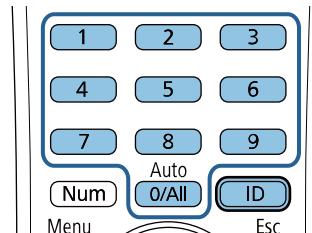
投写映像の位置調整

投写映像の位置調整は、下記のいずれかの方法で行います。



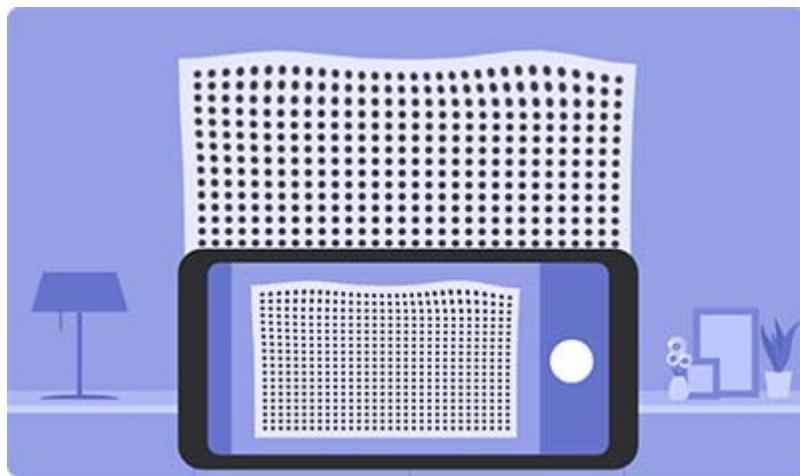
同じ部屋に複数台のプロジェクターを設置しているときは、リモコンの干渉を防ぐためにプロジェクターIDを設定することをお勧めします。

プロジェクターの電源をオンにして、[設置] - [プロジェクターID] でプロジェクターにID番号を設定します。対象のプロジェクターを操作するときは、リモコンの【ID】ボタンを押したまま、対象のプロジェクターのIDと同じ数字のボタンを押します。



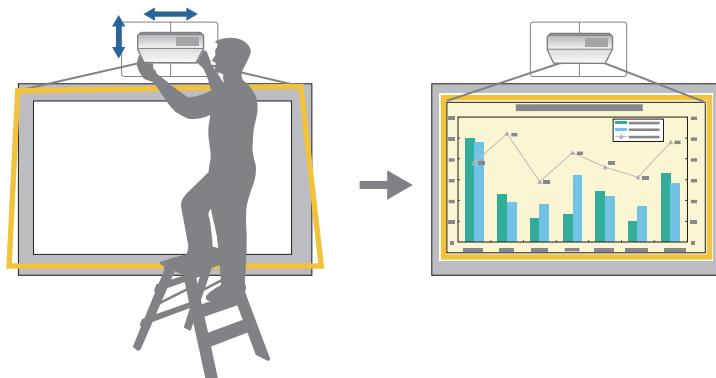
- Epson Setting Assistantによる調整 ([p.58](#))

Epson Setting Assistantを使用して投写位置を調整します。Epson Setting Assistantアプリをインストールしてご使用ください。アプリのインストールは、初期設定ウィザードの投写画面に表示されるQRコードからダウンロードできます。



- セッティングプレート調整ガイドによる調整 ([p.60](#))

表示されるガイド画面に合わせて、金具の位置を手動で調整します。画質を維持したまま投写位置を細かく調整したいときに便利です。

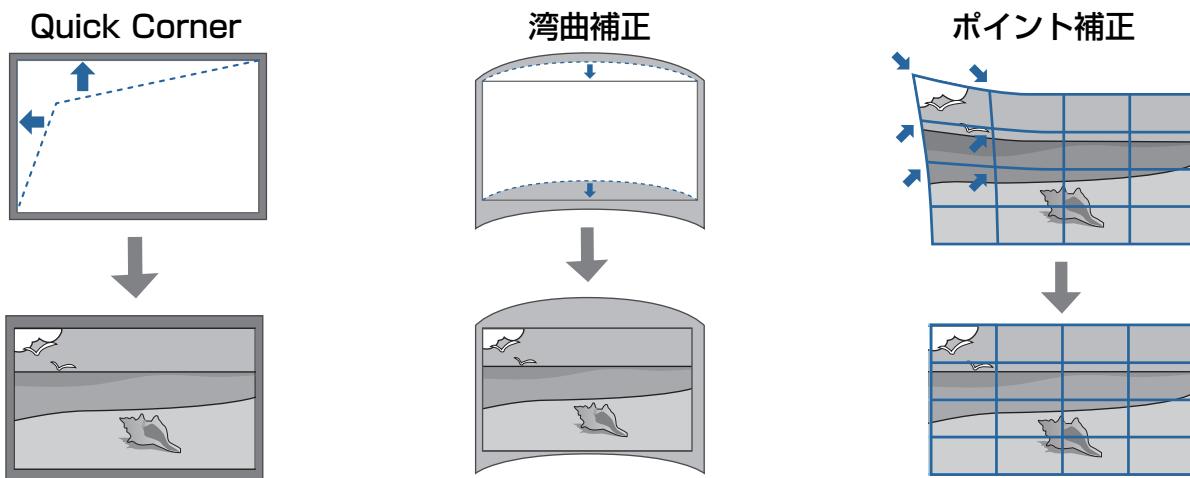


- 初期設定ウィザードによる調整

最初に本機の電源を入れたときに表示される初期設定ウィザードを使用して投写位置を調整します。

- プロジェクターメニューによる調整 ([p.64](#))

調整したいエリアを選択して、手動で映像を補正します。設置ガイドで調整を行った後、投写位置を微調整するときに便利です。



- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写開始後、30分以上経ってから映像の調整を行ってください。複数台のプロジェクターを並べて、ひとつの大きな映像として投写するときは、投写開始後、60分以上経ってから映像の調整を行ってください。
- プロジェクターの設置・調整は、実際の使用環境に近い室温で行ってください。温度が変化すると、映像の位置がずれる可能性があります。
- 本機を2台以上設置する場合に、一括設定機能を使って設定を行うときは、投写画面を調整する前に行ってください。
- 映像の画質を維持するためには、金具の位置を動かして映像を調整することをお勧めします。
- 映像の歪みを抑制するため、投写面に対してプロジェクターをできる限り平行に設置することをお勧めします。

■ 調整前の準備

最初に本機の電源を入れたときには、初期設定ウィザードが表示されます。

上下左右ボタンと【Enter】ボタンを使って、【設置モード】、【言語】、【日付＆時刻】を設定してください。続けて、必要に応じて投写映像の形状や位置を調整してください。その後で、必要に応じて【高速起動】を有効にしてプロジェクターの起動が早くなるようにします。この設定を有効にすると、待機時の電力消費量が増加します。

■ Epson Setting Assistantによる調整

Epson Setting Assistantアプリの画面に従って操作することで映像の位置を自動で調整します。初期設定ウィザードの【映像の位置を調整します】で【アプリを使って自動で調整する】を選択して、【幾何学歪み補正ウィザード】に進んでください。

調整するときは以下の点について注意してください。

全体の注意事項

- プロジェクターのファームウェアが最新であること



プロジェクターの機種によっては、ファームウェアのアップデートが必要です。

- アプリとの接続が切断されるため、アプリ利用中はプロジェクターのリモコンを操作しないこと
- 補正した結果が初期化されるため、【スクリーンタイプ】を変更したり、【スクリーン位置】を調整したりしないこと

- ・湾曲補正以外の補正方法と組み合わせて使用しないこと

投写面の注意事項

- ・投写面に模様や汚れ、障害物がないこと
- ・黒板やホワイトボードに投写する場合は、消し忘れや汚れがないこと
- ・設置面にそりや歪みがなく平らで、表面の凹凸が5mm以下であること
- ・曲面や極端な凹凸、ざらざらした質感がないこと
- ・照明などの映り込みがないこと
- ・プロジェクタースクリーンに投写する場合は、枠にゆがみがないこと

投写方法の注意事項

- ・リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写する、リア設置モードではないこと
- ・プロジェクターを縦に設置する、縦置き設置ではないこと

投写映像の注意事項

- ・投写したい領域より大きく投写すること

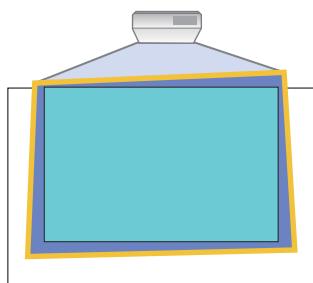


自動調整後は画像が少し小さくなります。

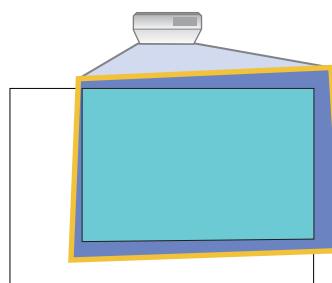
- ・合わせたい枠より大きく投写すること

投写映像をプロジェクタースクリーンや黒板、ホワイトボードなどの枠と合わせたいときは、投写映像が合わせたい枠の上下左右のいずれか1辺以上の外側まで投写されるように設置してください。

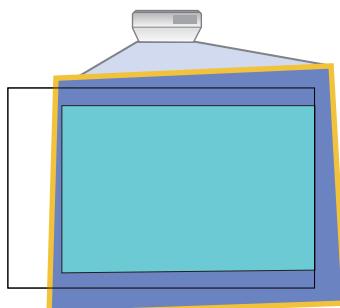
1辺を合わせたい場合



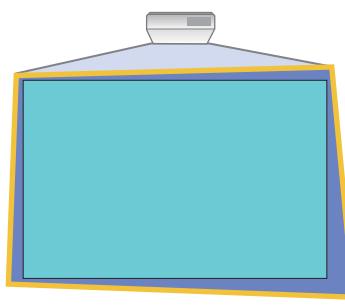
2辺を合わせたい場合



3辺を合わせたい場合

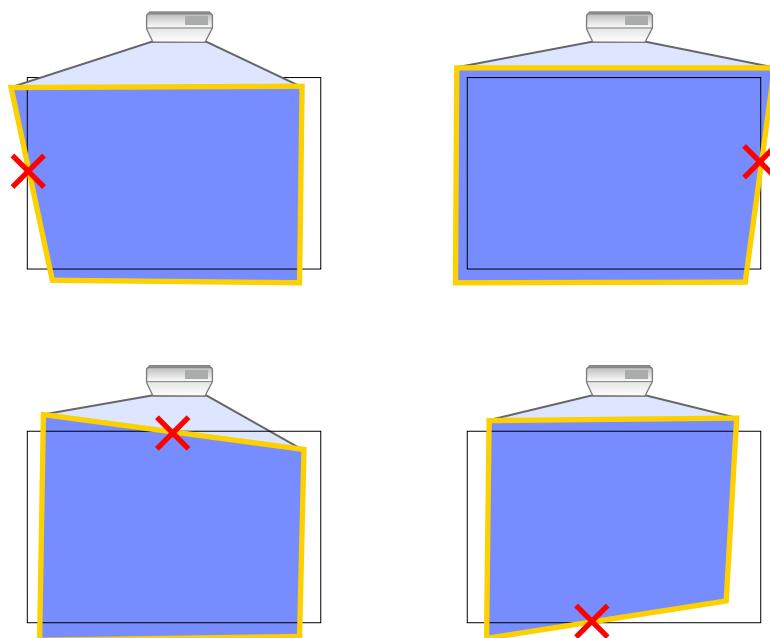


4辺を合わせたい場合



- ・映像が枠と交差しないように投写すること

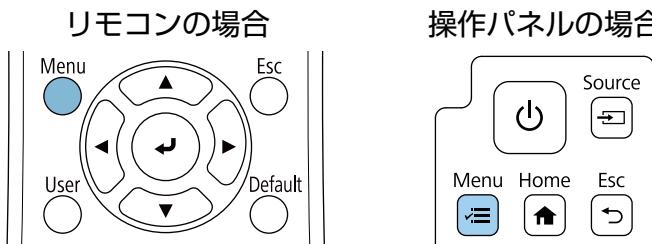
投写映像とプロジェクタースクリーンや黒板、ホワイトボードの上辺と上側の枠、左辺と左側の枠などのように、対応する投写映像の辺と物理的な枠が交差していないことを確認してください。



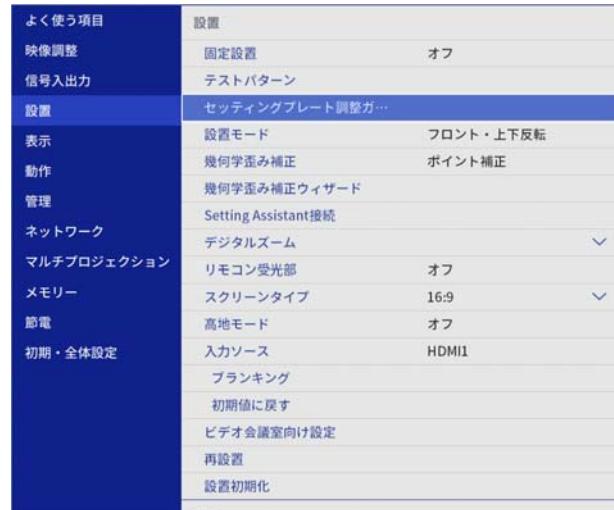
■ セッティングプレート調整ガイドを使った手動調整

ガイド画面に従って、映像の位置を調整します。

1 【Menu】ボタンを押す

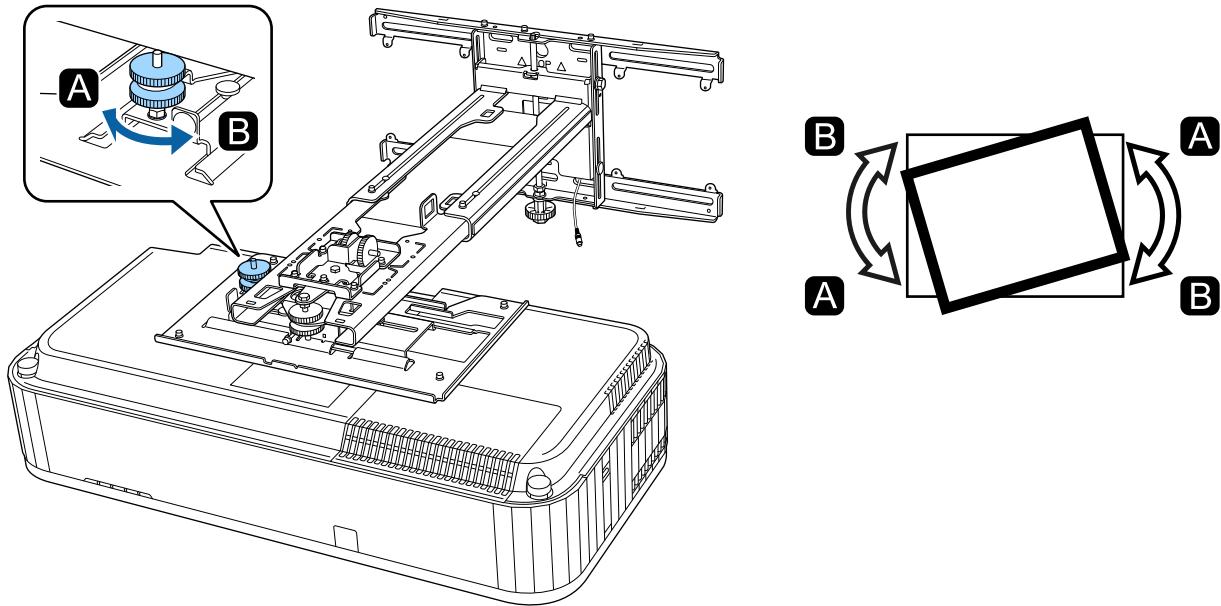


2 [設置] メニューの [セッティングプレート調整ガイド] を選択する

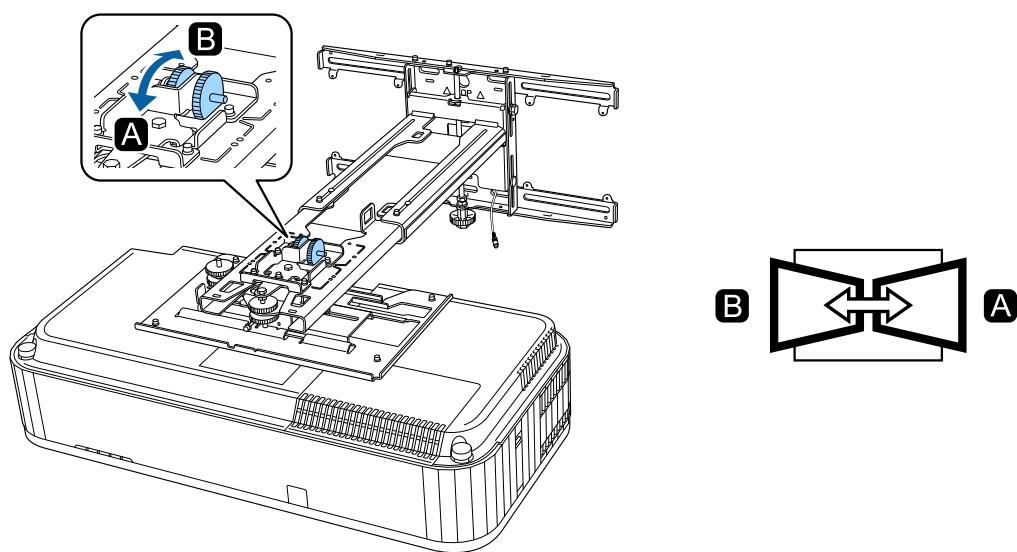


ガイド画面が表示されます。

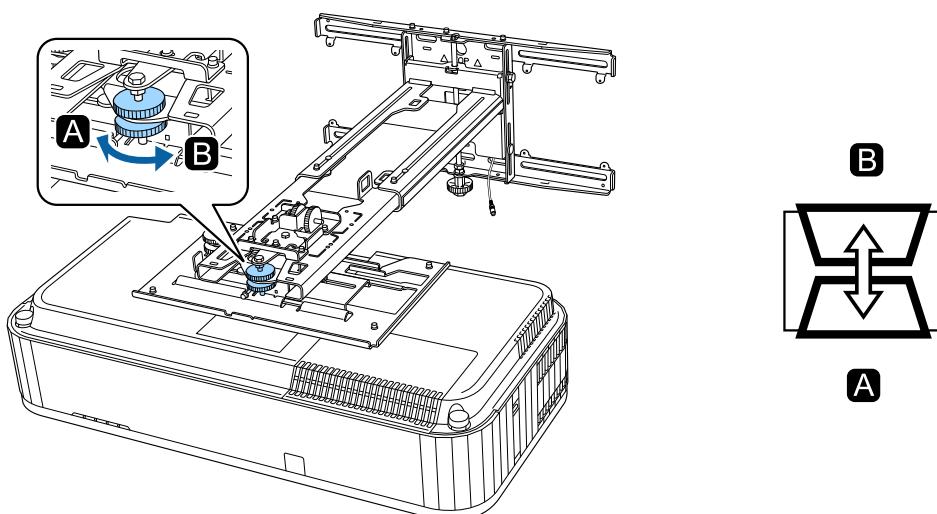
3 設置ガイド内 ① のダイヤルを回して水平ロールを調整する



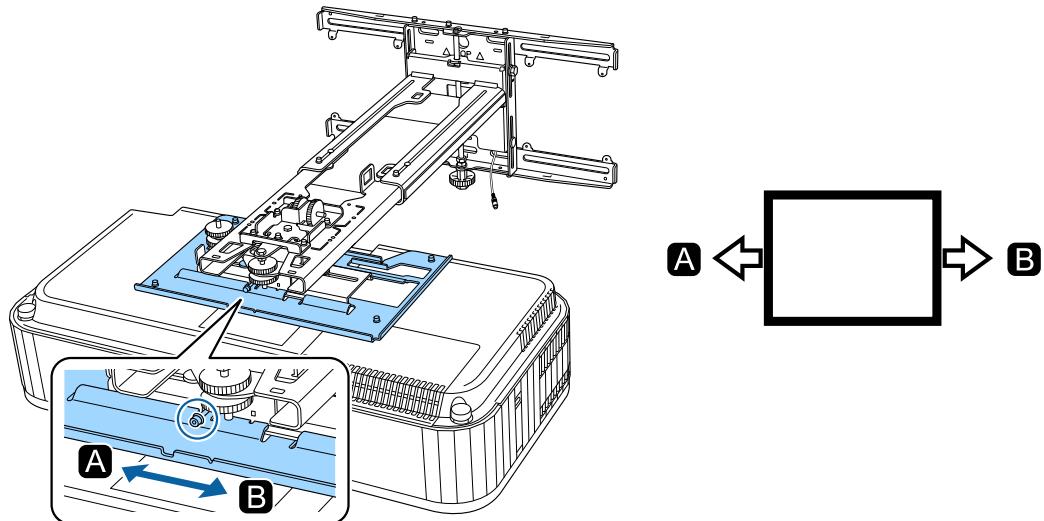
4 M4ネジを緩めてから、設置ガイド内 ② のダイヤルを回して水平回転を調整する



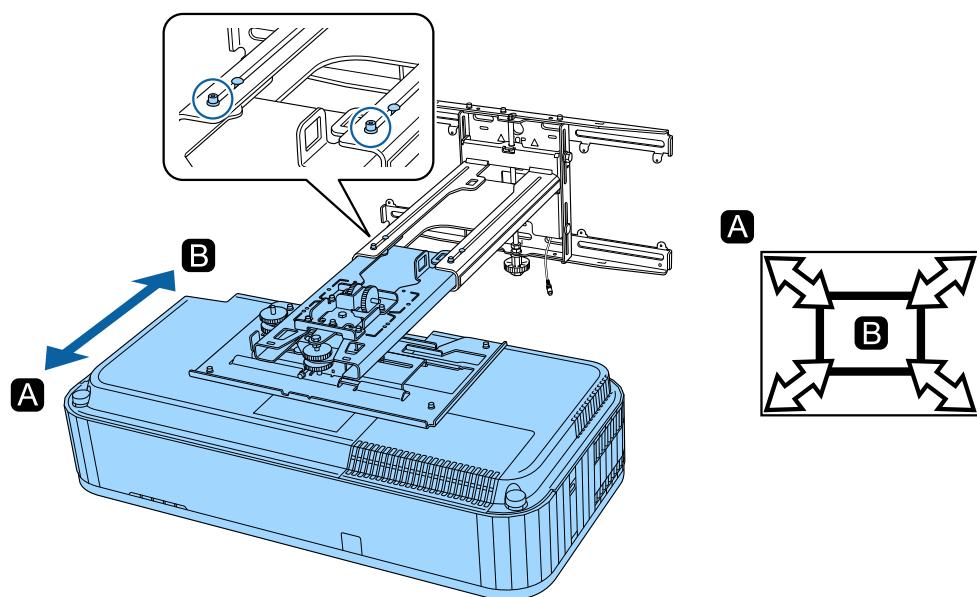
5 設置ガイド内 ③ のダイヤルを回して上下チルトを調整する



6 M4ボルトを緩めてから、水平スライドを調整する

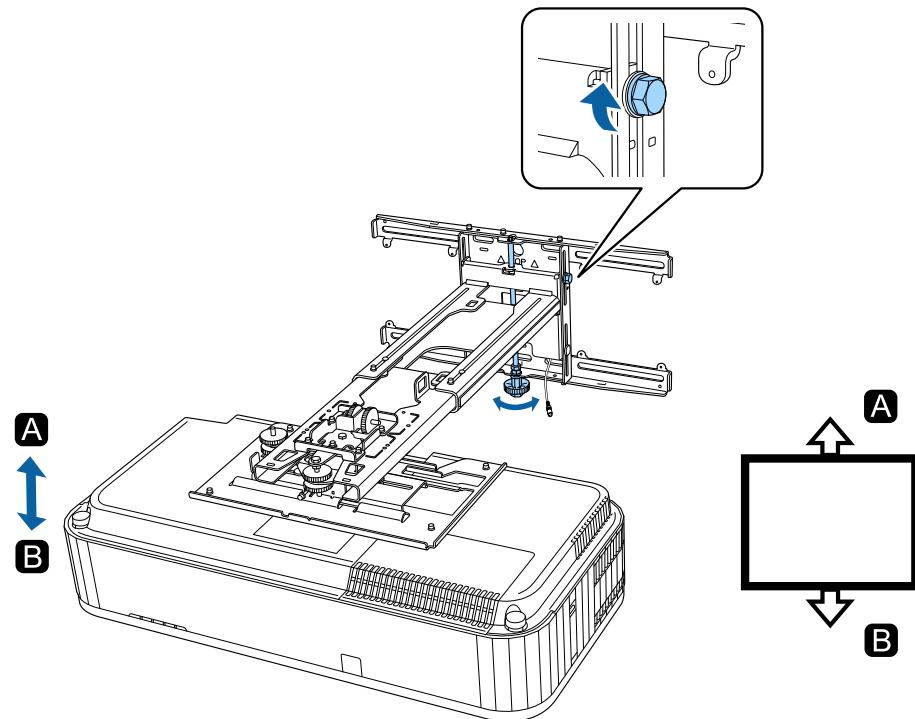


7 M4ボルト (2本) を緩めてから、前後スライドを調整する



8

M6ボルトを緩めてから、上下スライドを調整する



9

手順3から手順8で緩めたネジやボルトを締め直す

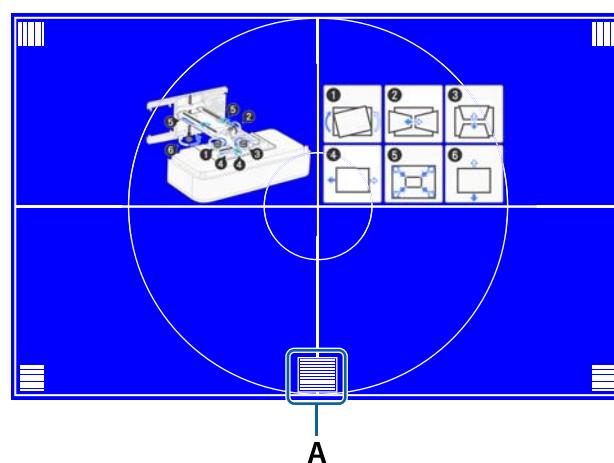


警告

すべてのボルトやネジを完全に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。

10

下図Aのピントが合うようにフォーカスを調整する



11

調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【Esc】ボタンを押して、ガイド画面を消す

■ プロジェクターメニューを使った調整

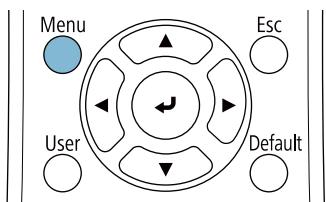


- 調整した値は、[幾何学歪み補正] メニューの [メモリー] から保存できます。
- 事前にスクリーンタイプとスクリーン位置を正しく設定してください。補正を行ったあとにスクリーンタイプまたはスクリーン位置を変更すると、補正前の状態に戻ります。

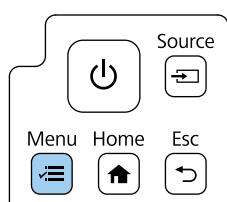
湾曲補正

1 [Menu] ボタンを押す

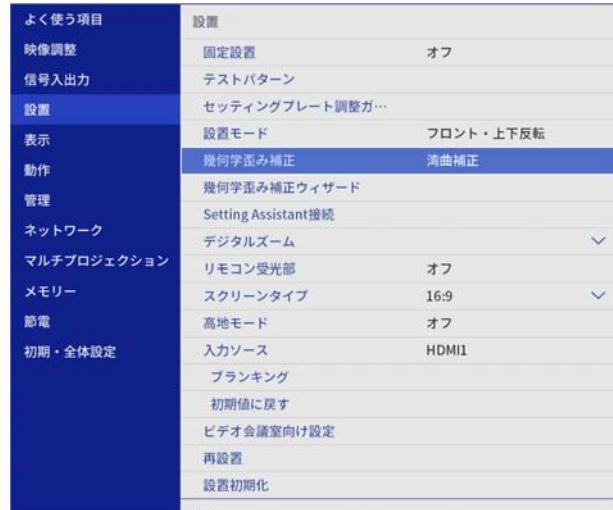
リモコンの場合



操作パネルの場合



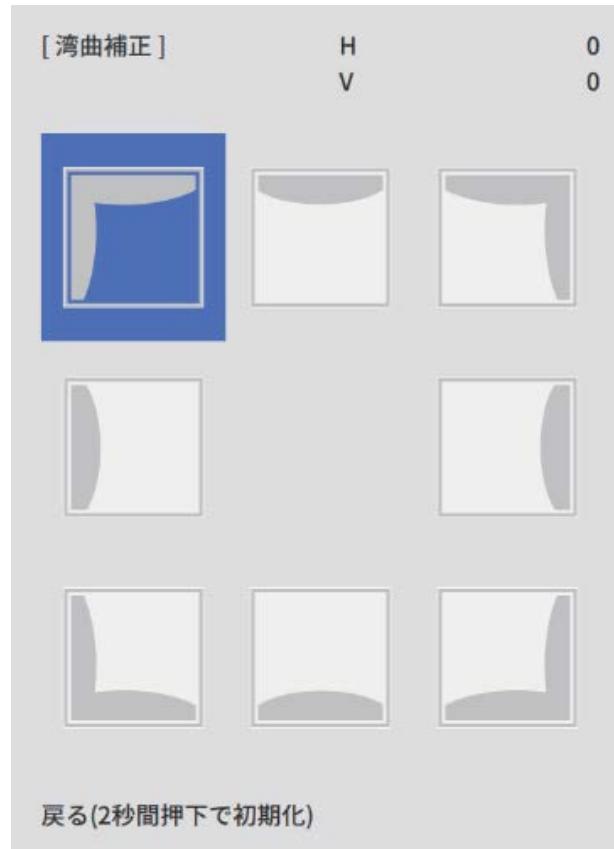
2 [設置] メニューの [幾何学歪み補正] を選択する



3 [湾曲補正] を選択する



4 補正する辺を選択して調整する

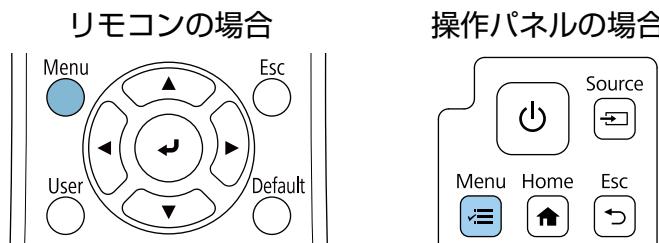


調整できない範囲に達したときは、[これ以上調整できません。] というメッセージが表示されます。

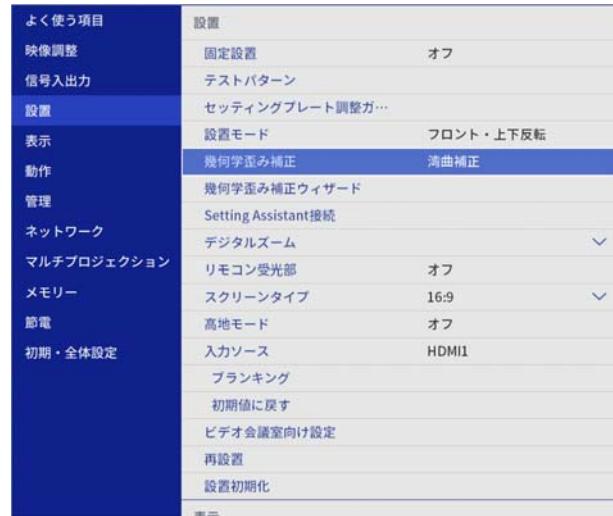
5 調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【Esc】ボタンを押して終了する

Quick Corner

1 【Menu】ボタンを押す



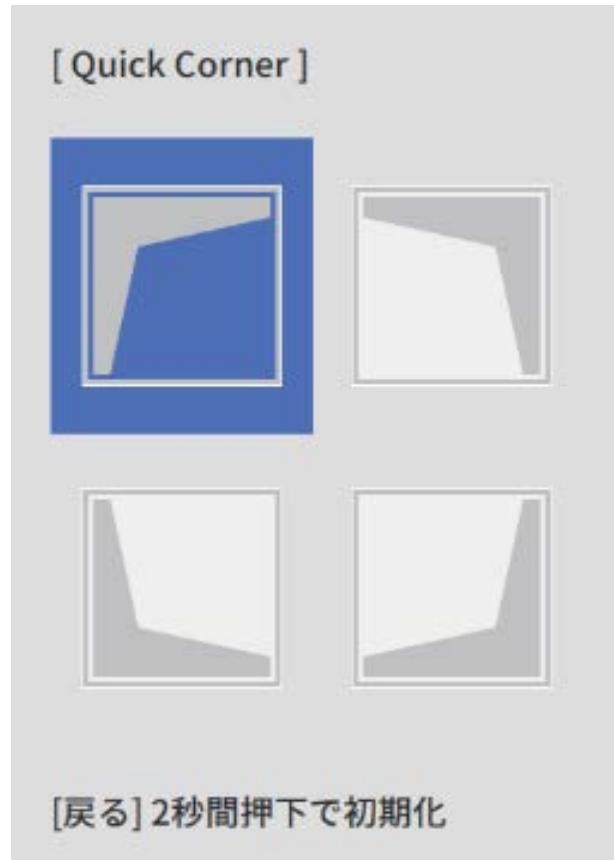
2 [設置] メニューの [幾何学歪み補正] を選択する



3 [Quick Corner] を選択する



4 補正する辺を選択して調整する



調整できない範囲に達したときは、[これ以上調整できません。] というメッセージが表示されます。



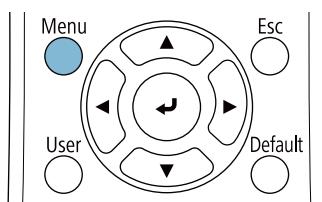
辺の調整中、リモコンの【1】【3】【7】【9】ボタンで補正する辺を切り替えられます。

5 調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【Esc】ボタンを押して終了する

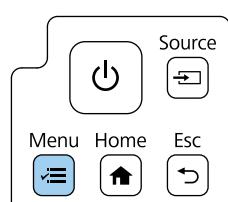
ポイント補正

1 【Menu】ボタンを押す

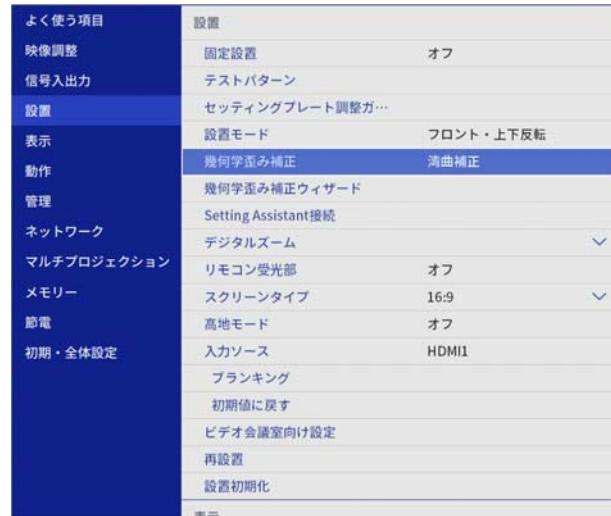
リモコンの場合



操作パネルの場合



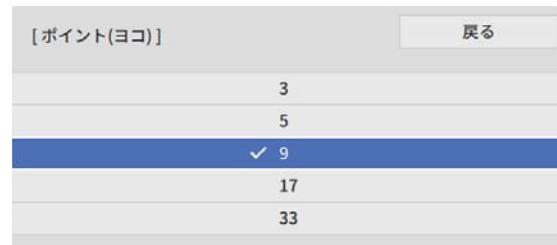
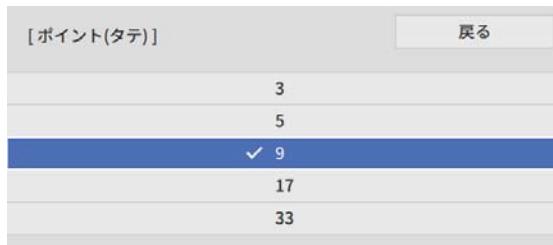
2 [設置] メニューの [幾何学歪み補正] を選択する



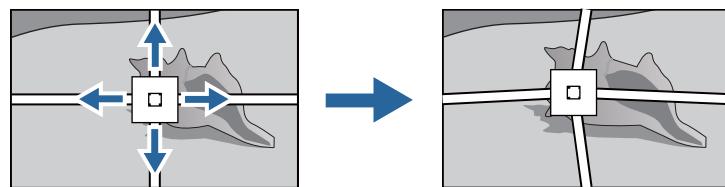
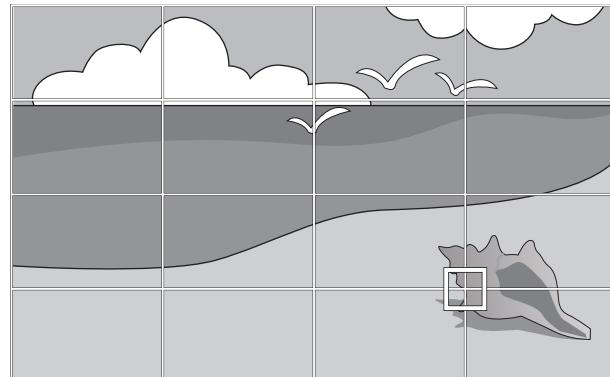
3 [ポイント補正] を選択する



4 [ポイント(タテ)] および [ポイント(ヨコ)] を選択して、グリッド数を設定する



5 補正するポイントを選択して調整する



グリッドが見えにくいときは、[パターン色] でグリッドの色を変更します。

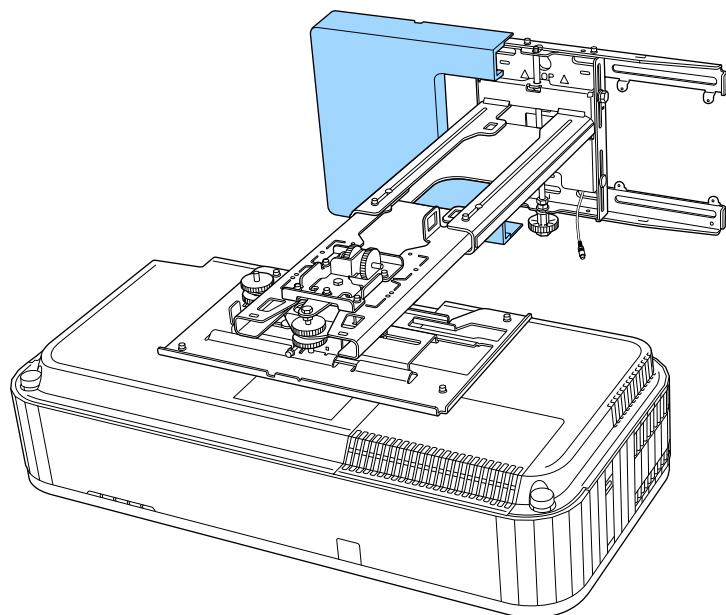
6

調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【Esc】ボタンを押して終了する

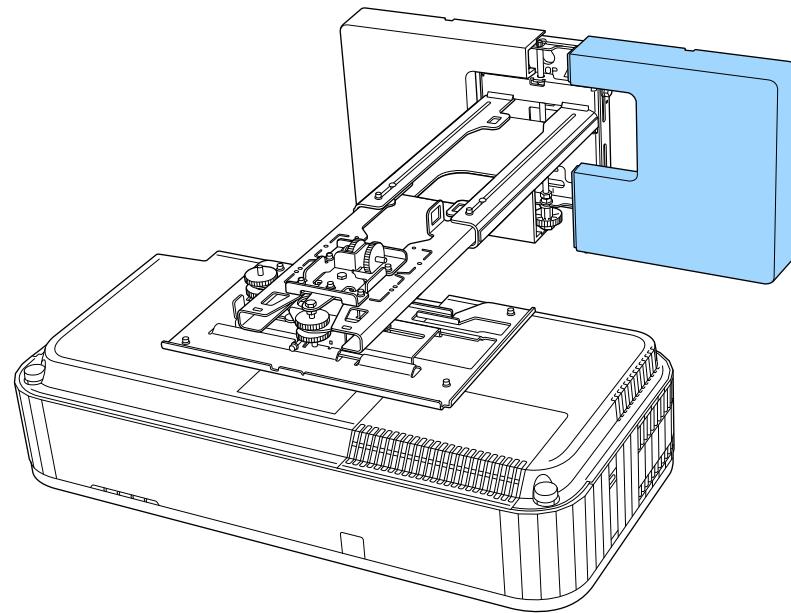
カバーの取り付け

1

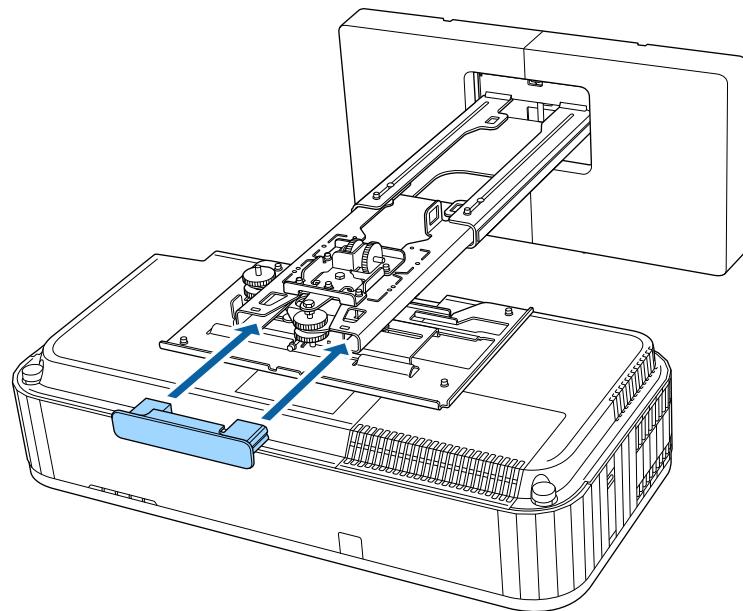
左側のウォールプレートカバーを取り付ける



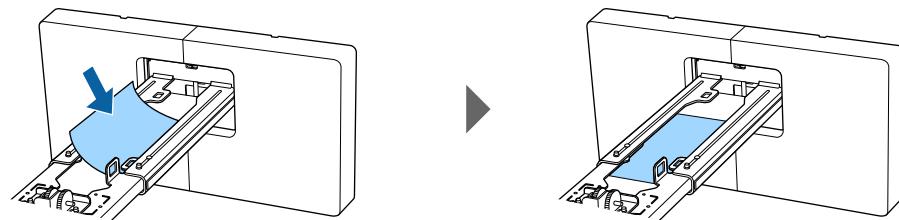
2 右側のウォールプレートカバーを取り付ける



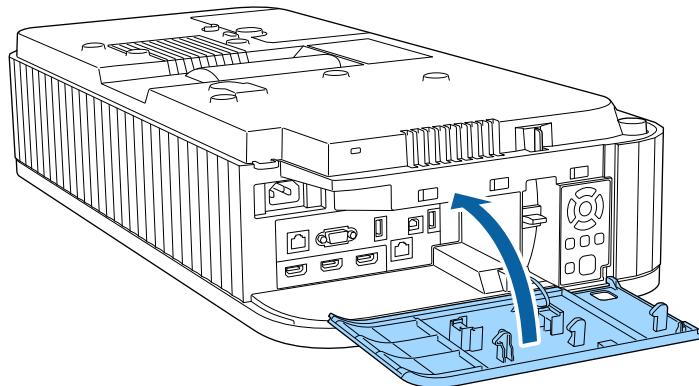
3 エンドキャップをアームユニットにはめ込む



 アームの空洞が気になるときは、同梱の目隠しシールを貼り付けてください。



4 プロジェクターにサイドカバーを取り付ける



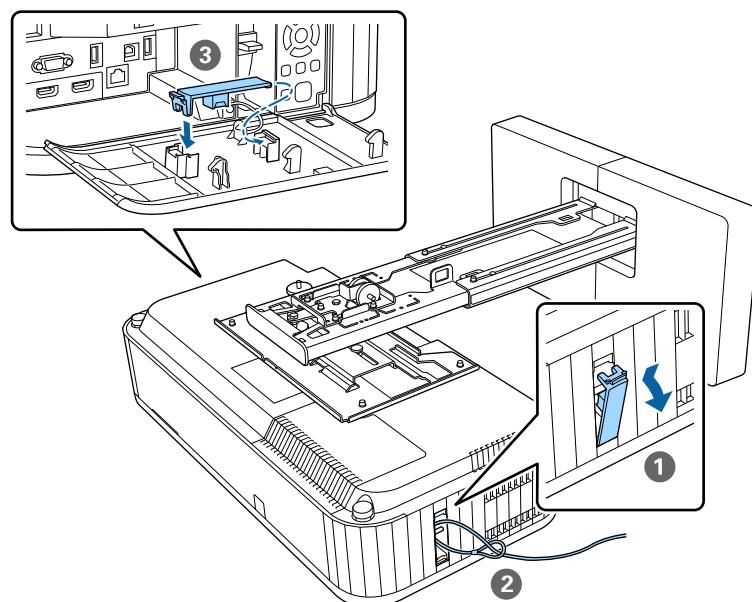
セキュリティーケーブルの取り付け

必要に応じて、セキュリティーケーブルを取り付けてセキュリティー対策を行ってください。

- セキュリティーケーブル取り付け部にワイヤーを取り付ける

セキュリティーケーブル取り付け部カバーを取り外して、ワイヤーケーブルを本機のセキュリティーケーブル取付け部に取り付けます。

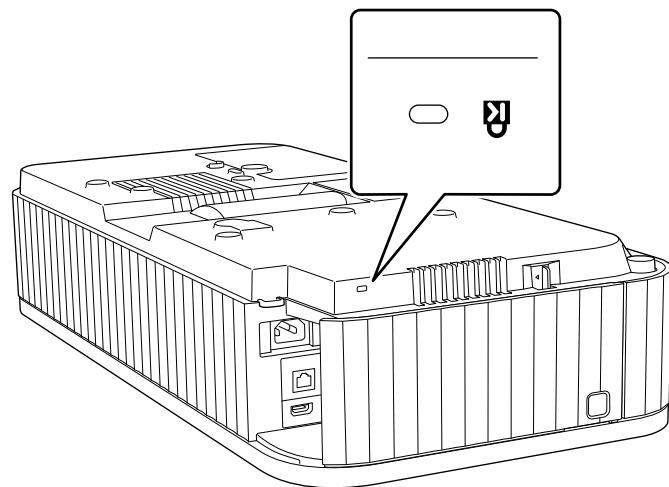
セキュリティーケーブル取付け部カバーをサイドカバーの裏側に取り付けることで紛失を防げます。



- Kensington社製のセキュリティーウイヤーを取り付ける

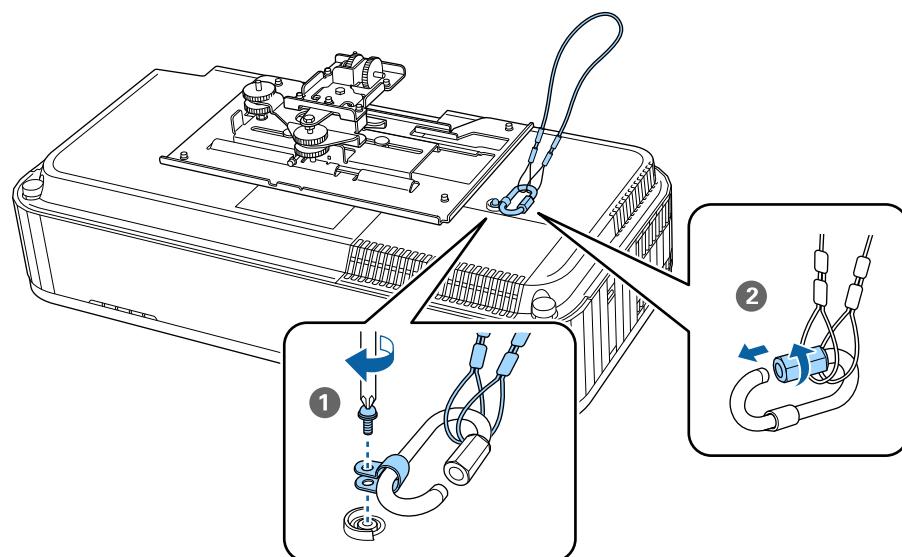
Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティースロットが搭載されています。マイクロセーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下をご覧ください。

<http://www.kensington.com/>

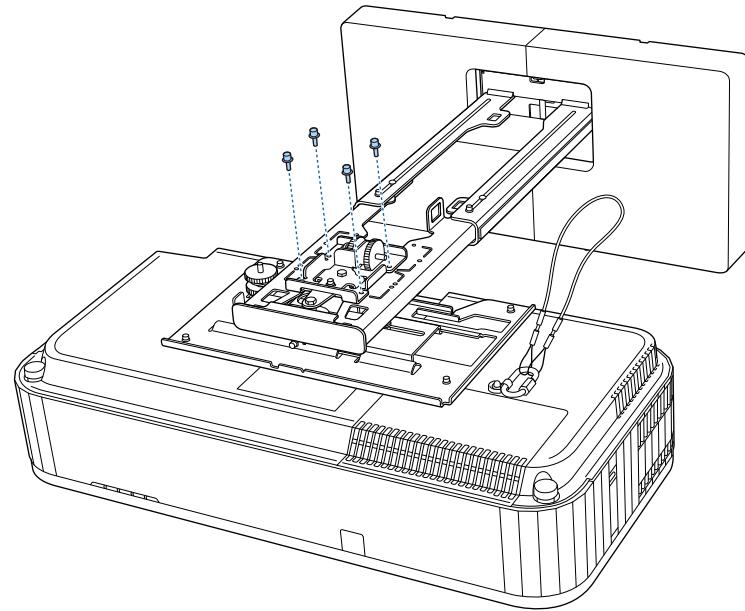


セーフティーウィヤーの取り付け

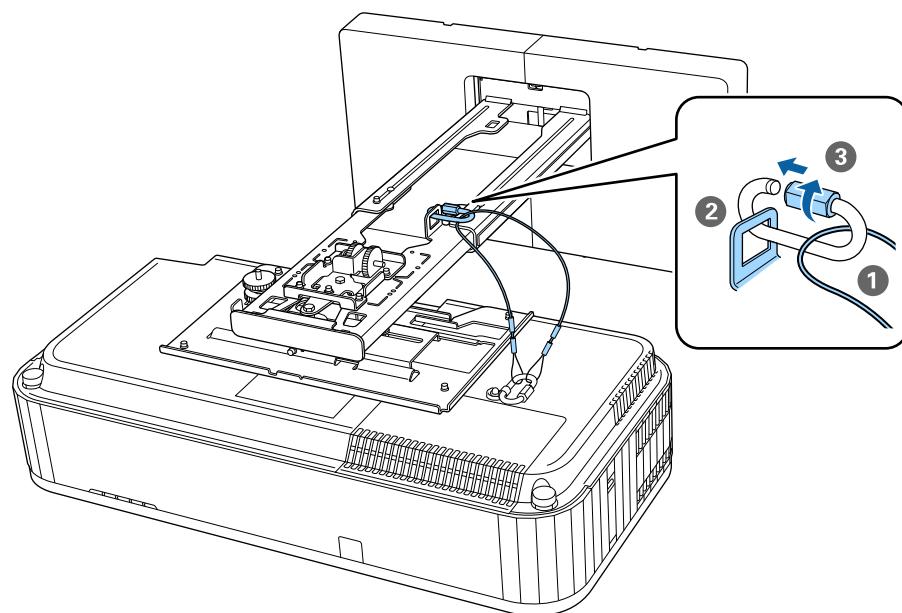
1 プロジェクター底面にクランプを使ってカラビナとワイヤーを取り付ける



- 2 アームユニットへプロジェクターをセットし、ネジを締めます。



- 3 アームユニットのアーム部分の穴にカラビナを付けて、ワイヤーを通します。



一括設定機能

1台のプロジェクターで設定したプロジェクターメニューの内容を、他の複数のプロジェクターに一括で設定できます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。以下のいずれかの方法で設定します。

- USBメモリーを使って設定する。
- コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する。
- Epson Projector Managementを経由して設定する。

本書では、USBメモリーを使う方法とUSBケーブルを使う方法を説明します。

Epson Projector Managementを経由して設定する方法は、『Epson Projector Management 操作ガイド』をご覧ください。



- 以下の設定をコピーしたくないときは、[一括設定範囲] を [一部] に設定してください。
 - [パスワードプロテクト]
 - [信号入出力] メニューの [EDID]
 - [ネットワーク] メニュー
- プロジェクターの位置調整を行う前に一括設定を行ってください。一括設定機能では、幾何学歪み補正などの投写画面の調整値も反映されます。プロジェクターの位置調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
- 一括設定機能を使うと、登録してあるユーザーロゴも他のプロジェクターに反映されます。機密情報などをユーザーロゴとして登録しないでください。

⚠ 注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

USBメモリーを使って設定する

USBメモリーを使って一括設定を行う方法を説明します。



- FAT 形式でフォーマットしたUSBメモリーを使用してください。
- セキュリティー機能が付いているUSBメモリーでは、一括設定機能が利用できません。セキュリティー機能の付いていないUSBメモリーをお使いください。
- USBカードリーダーやUSBハードディスクでは、一括設定機能は利用できません。

■ 設定値をUSBメモリーに保存する

- 1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

2 USBメモリーをプロジェクターのUSB-A端子に接続する

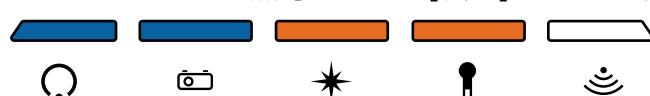


- USB メモリーは、プロジェクターに直接接続してください。USB ハブを介してUSB メモリーを接続すると、設定値の保存が正常に行われないことがあります。
- 空のUSBメモリーを接続してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく保存できないことがあります。
- 一括設定したファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変更すると、プロジェクターが正しく認識できないことがあります。
- 2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離してください。



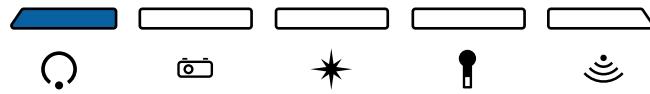
すべてのインジケーターが点滅に変わると、一括設定ファイルの書き込みが始まります。



注意

- ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- ファイルの書き込み中は、プロジェクターからUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青色に点灯します。



プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。

■ 保存した設定値を他のプロジェクターに反映する

1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

2 一括設定ファイルを保存したUSBメモリーを、プロジェクターのUSB-A端子に接続する



- USBメモリーには一括設定ファイル以外のデータを入れないでください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく反映できないことがあります。

3 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離してください。インジケーターは約75秒点灯します。

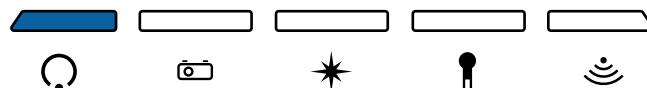


すべてのインジケーターが点滅に変わると、設定値の書き込みが始まります。

⚠ 注意

- 設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- 設定値の書き込み中は、プロジェクターからUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青色に点灯します。



プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する



一括設定機能の対応OSは以下のとおりです。

- Windows 10 以降
- macOS 10.13.x 以降

■ 設定値をコンピューターに保存する

1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

2 コンピューターのUSB 端子とプロジェクターのUSB-B 端子をUSB ケーブルで接続する

3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離してください。



コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

4 リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイル (PJCONFDATA.bin) をコンピューターに保存する

 一括設定ファイルのファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変更すると、正しく認識できないことがあります。2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

5 コンピューター上で「USBデバイスの取り外し」を行ってから、USBケーブルを抜く

 Macをお使いの場合は、「"EPSON_PJ"の取り出し」を行ってください。

プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青色に点灯します。



■ 保存した設定値を他のプロジェクターに反映する

1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

2 コンピューターのUSB端子とプロジェクターのUSB-B端子をUSBケーブルで接続する

3 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離してください。



コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

4 コンピューターに保存した一括設定ファイル (PJCONFDATA.bin) をリムーバブルディスクの最上位フォルダーにコピーする



リムーバブルディスク上に、一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをコピーしないでください。

5 コンピューター上で「USBデバイスの取り外し」を行ってから、USBケーブルを抜く



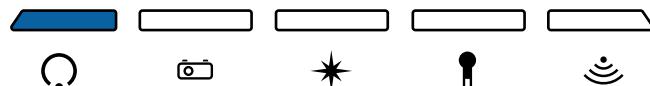
Macをお使いの場合は、「"EPSON_PJ"の取り出し」を行ってください。

すべてのインジケーターが点滅すると、設定値の書き込みが始まります。

⚠ 注意

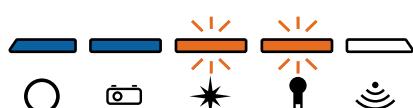
設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青色に点灯します。



設定がうまくいかないときは

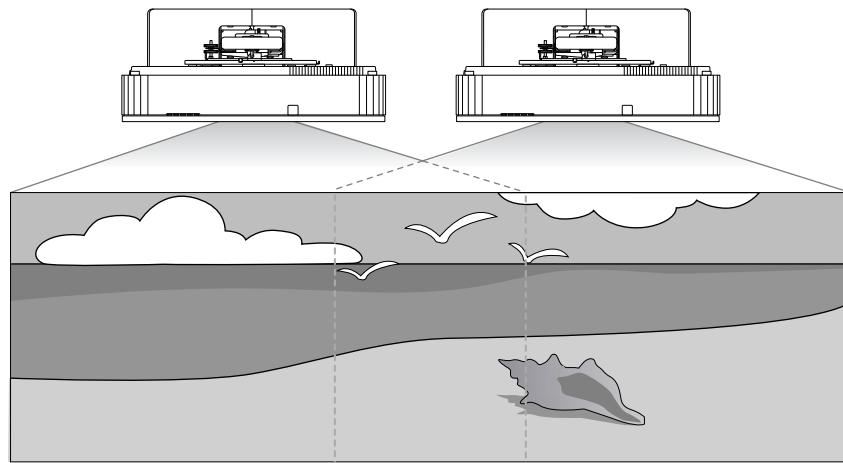
確認	対処法
レーザーインジケーター、温度インジケーターが、橙色に速く点滅しているませんか？	一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーまたはUSBケーブルが正しく接続できていない可能性があります。USBメモリーまたはUSBケーブルを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。



確認	対処法
電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ速く点滅していませんか？ 	設定値の書き込みに失敗して、プロジェクトーのファームウェアに異常が生じた可能性があります。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。

本機を複数台並べて設置する（マルチプロジェクション）

複数台のプロジェクターを並べて設置して、1つの大きな画面を投写できます（マルチプロジェクション）。



マルチプロジェクションを行うときは、以下の順番で接続や必要な設定を行います。

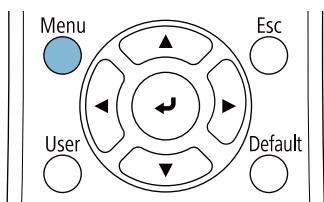
 マルチプロジェクションの設定を行うときは、プロジェクターメニューから [動作] - [スリープモード] を [オフ] にすることをお勧めします。

- 1 ケーブル類の接続 (☞ p.9)
- 2 プロジェクターIDの設定 (☞ p.80)
- 3 マルチプロジェクションの接続設定 (☞ p.82)
- 4 HDMIリンク設定 (☞ p.83)
- 5 マルチプロジェクションの映像設定 (☞ p.84)

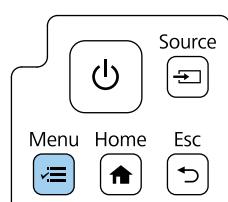
プロジェクターID の設定

- 1 プロジェクターの電源をオンにして、【Menu】ボタンを押す

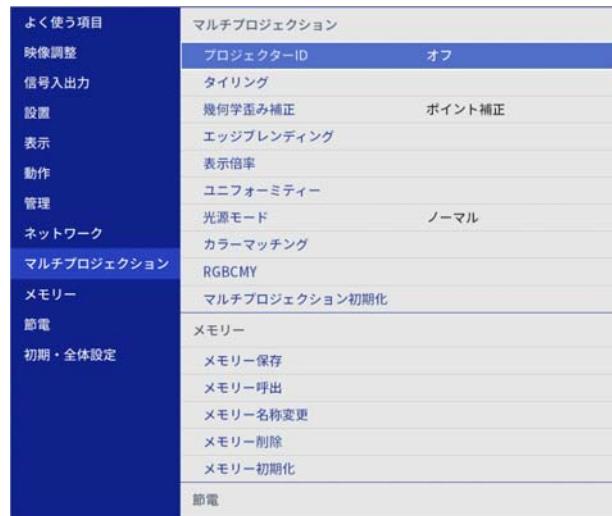
リモコンの場合



操作パネルの場合



2 [マルチプロジェクション] メニューで [プロジェクターID] を選択する



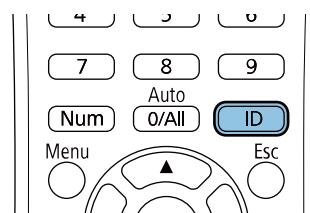
3 対象のプロジェクターに設定するID番号を選択する



4 【Esc】ボタンを押してメニューを終了する

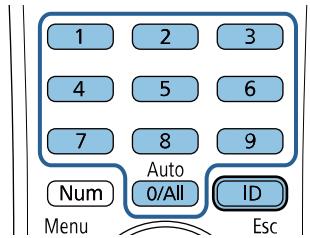
残りのプロジェクターについて、手順1～4を繰り返します。

5 操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】ボタンを押す



投写画面上に現在のID番号が表示されます。

6 【ID】ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押す



選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。

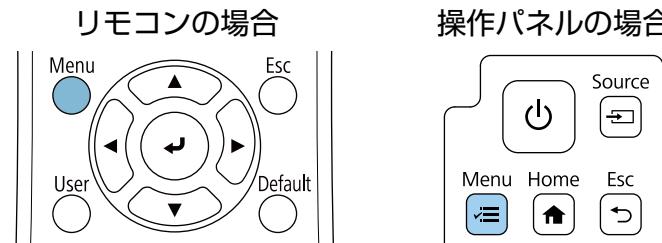


- ・[プロジェクターID] を [オフ] に設定しているときは、リモコンで選択したID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
- ・リモコンでIDを0に選択したときは、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- ・複数のリモコンを同時に操作すると、赤外線の干渉により意図しない動作となることがあります。

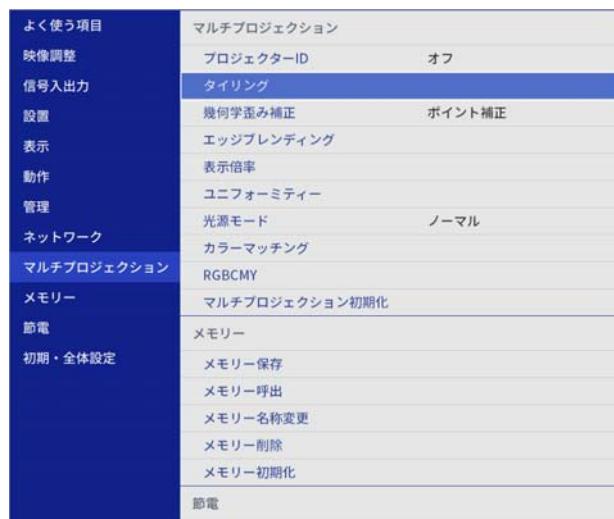
マルチプロジェクションの接続設定

接続しているすべてのプロジェクターで、下記の設定を行ってください。

1 【Menu】ボタンを押す



2 [マルチプロジェクション] メニューの [タイリング] を選択する



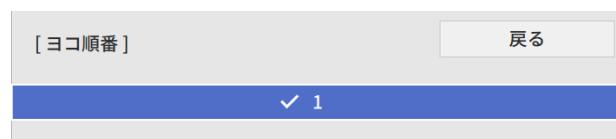
3 [ヨコ台数] を設定する

タイリングを構成するプロジェクターの台数を設定します。[ヨコ台数] を変更すると、[ヨコ順番] が初期化されます。



4 [ヨコ順番] を設定する

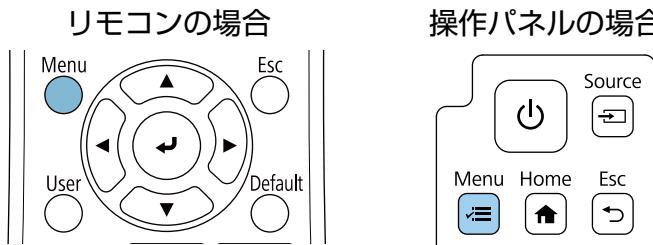
機器に接続する最初のプロジェクターを [1] として、プロジェクターの位置を設定します。



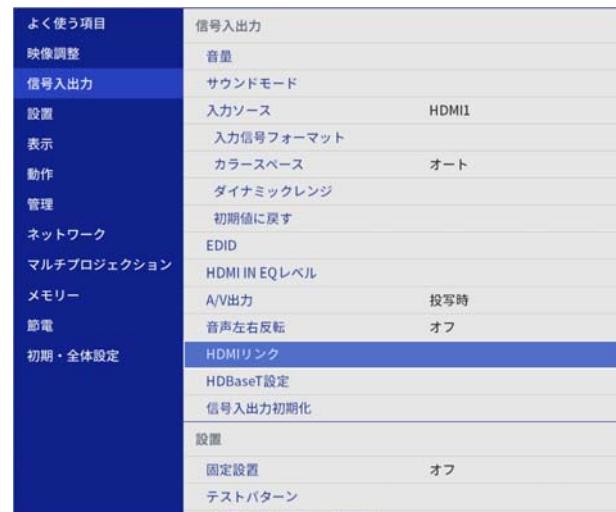
HDMIリンク設定

HDMIリンク機能を使って、複数のプロジェクターの電源オン/オフを連動します。

1 【Menu】ボタンを押す



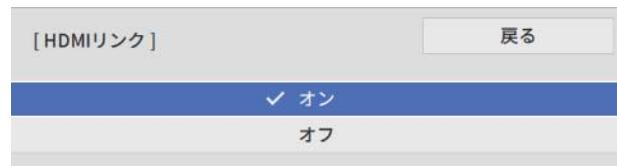
2 [信号入出力] メニューの [HDMIリンク] を選択する



3 [HDMIリンク] を選択する



4 [オン] を選択する



5 [HDMIリンク] を下記のように設定します。

設定	機器に接続する最初のプロジェクター	中央のプロジェクター	終端のプロジェクター
HDMI Out電源運動	オン	オン	オン
HDMI Out終端	オフ	オフ	オン

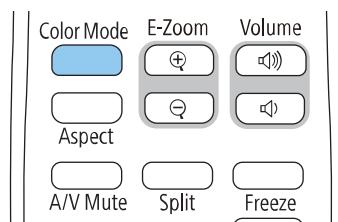
 5台以上のプロジェクターをデイジーチェーン接続している場合や、設定が正しくない場合、機能しない場合があります。

マルチプロジェクションの映像調整

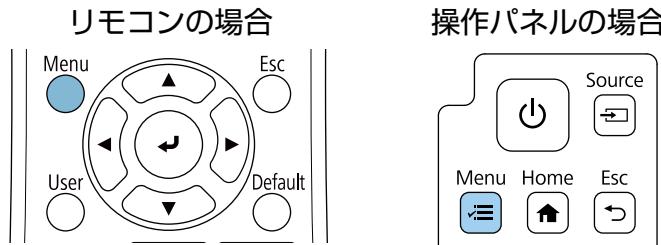
 プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写開始後、30分以上経ってから映像の調整を行ってください。

1 プロジェクターの電源をオンにする

2 リモコンの【カラー モード】ボタンを押して、カラー モードを【マルチプロジェクション】に設定する



3 [Menu] ボタンを押す



4 [マルチプロジェクション] メニューで、必要な設定を行う

設定方法の詳細はプロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

[エッジブレンディング]	映像のつなぎ目や映像が重なった部分を目立たないように調整します。 (☞「取り付け寸法図」 p.7)
[表示倍率]	映像の拡大率と切り出し位置を設定します。
[光源モード]	映像全体の明るさを合わせます。[カスタム] を選択して、一番暗いプロジェクターを基準に [明るさレベル] を調整してください。
[ユニフォーミティー] [カラーマッチング] [RGBCMY]	映像全体の色が均一に見えるように、プロジェクターごとの映像の色味を調整します。

○ 安全規格対応シンボルマークと説明

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5007	電源 ON 電源への接続を示す。
	IEC60417 No.5008	電源 OFF 電源からの切り離しを示す。
	IEC60417 No.5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
	ISO7000 No.0434B IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
	IEC60417 No.5041	注意 (高温) 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
	IEC60417 No.6042 ISO3864-B3.6	注意 (感電危険) 感電 (電撃) の危険性がある機器・装置であることを示す。
	IEC60417 No.5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。
	IEC60417 No.5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラス及びマイナス電極の接続を示す。
	---	
	IEC60417 No.5001B	電池(一般) 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
	IEC60417 No.5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
	---	
	IEC60417 No.5019	保護接地 障害発生時の電撃 (感電) 保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
	IEC60417 No.5017	アース ○の使用が明示的に要請されない場合の接地 (アース) 端子であることを示す。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。
	IEC60417 No.5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
	IEC60417 No.5172	クラスII機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスII機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
	ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
	ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
	--	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
	--	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
	ISO3864 IEC60825-1	注意(レーザー放射) 製品上に注意が必要なレベルのレーザ放射部があることを示す。
	ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
	IEC60417 No.5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
	ISO3864 IEC60417 No.5057	注意 (可動部品) 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
	IEC 60417-6056	注意 (可動ファンのブレード) 保護規定上、可動ファンのブレードから離れなければならないことを示す。
	IEC 60417-6043	注意 (鋭利な角) 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを示す。
	--	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
	ISO7010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射 (UV、可視光、IRなど) 光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないように注意することを示す。
	IEC60417 No.5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを示す。

商標について

Mac、OS Xは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標、または登録商標です。



© 2024 Seiko Epson Corporation

2025.2 Rev.03